

令和 4 年度

社会福祉法人 白寿会事業報告書



令和 5 年 3 月
3 年ぶりの
お花見へ。

1	社会福祉法人白寿会	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	2 p
2	特別養護老人ホーム白寿園	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	10 p
3	白寿園居宅介護支援事業所	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	20 p
4	白寿園第二居宅介護支援事業所	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	24 p
5	磐田市竜洋地域包括支援センター	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	27 p
6	白寿園ショートステイ	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	31 p
7	デイサービスセンター白寿園	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	35 p
8	白寿園研修センター	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	38 p
9	白寿園ケアハウス	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	42 p
10	特別養護老人ホーム第二白寿園	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	45 p
11	白寿園ホームヘルプサービス	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	51 p
12	なないろ保育園	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月期事業報告	…	54 p

1 令和4年度 事業報告 社会福祉法人白寿会

1 白寿会実施事業

事業部門では、新型コロナウイルス感染症に対する対策や予防に重点を置き、組織的な対応をしました。

(1) 法人役員会等の開催状況

◆令和4年度第1回経営戦略会議 令和4年5月17日（火） 午後2時

出席者 理事長、野寄評議員、村上理事、施設長、事務長

議 案

- 第1号議案 社会福祉法人白寿会令和3年度事業実績報告について
- 第2号議案 社会福祉法人白寿会令和3年度収支決算報告（案）について
- 第3号議案 社会福祉法人白寿会令和3年度社会福祉充実残額及び令和4年度社会福祉充実計画の策定について
- 第4号議案 令和4年度白寿園ケアハウス空調設備改修工事の請負契約の締結について
- 第5号議案 社会福祉法人白寿会施設整備積立資金計画（ケアハウス拠点）の一部変更について
- 第6号議案 白寿園ケアハウス拠点における前期末支払資金残高の取崩しについて
- 第7号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第一次補正予算（案）について
- 第8号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度6月期期末勤勉手当の支給（案）について
- 第9号議案 社会福祉法人白寿会なないろ保育園運営規程の一部改正について
- 第10号議案 社会福祉法人白寿会保育料徴収規程細則の一部改正について
- 第11号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度第1回評議員会（令和4年定時評議員会）の招集について

◆令和4年度第2回経営戦略会議 令和4年11月9日（水） 午後2時

出席者 理事長、野寄評議員、村上理事、施設長、事務長

議 案

- 第1号議案 社会福祉法人白寿会理事長の職務執行状況報告について
- 第2号議案 社会福祉法人白寿会業務執行理事の職務執行状況報告について
- 第3号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度上半期事業報告について
- 第4号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度上半期収支報告について
- 第5号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度12月期 期末・勤勉手当の支給（案）について
- 第6号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第三次補正予算（案）について
- 第7号議案 社会福祉法人白寿会給与規程の一部改正について

第 8 号議案 第二白寿園増床に伴う資金調達について

第 9 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度第 2 回評議員会（令和 4 年定時評議員会）の招集について

◆令和 4 年度第 3 回経営戦略会議 令和 5 年 3 月 3 日（金） 午後 2 時

出席者 理事長、野寄評議員、村上理事、事務長

報告

報告第 1 号 社会福祉法人白寿会特別養護老人ホーム第二白寿園外構・造成工事の契約締結について
議 案

第 1 号議案 社会福祉法人白寿会理事長の職務執行状況報告について

第 2 号議案 社会福祉法人白寿会業務執行理事の職務執行状況報告について

第 3 号議案 社会福祉法人白寿会保育料徴収規程の一部変更について

第 4 号議案 社会福祉法人白寿会施設整備等資金積立計画の一部変更（白寿園特養拠点、第二白寿園拠点）（案）について

第 5 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第四次補正予算（案）について

第 6 号議案 社会福祉法人白寿会令和 5 年度事業計画（案）について

第 7 号議案 社会福祉法人白寿会令和 5 年度当初予算（案）について

第 8 号議案 特別養護老人ホーム白寿園施設長の任免について

第 9 号議案 社会福祉法人白寿会評議員選任・解任委員の補充について

第 10 号議案 第二白寿園増床工事に伴う入札方式及び入札参加資格者選定について

第 11 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度第 2 回評議員会（令和 4 年定時評議員会）の招集について

第 12 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度指導監査結果に係る改善措置について

協議事項

令和 5 年度人事体制について

◆令和 4 年度第 1 回理事会

令和 4 年度第 1 回理事会 令和 4 年 5 月 27 日（金） 午前 9 時 30 分

出席者 理事 6 名 監事 1 名

議 案

第 1 号議案 社会福祉法人白寿会令和 3 年度事業実績報告について

第 2 号議案 社会福祉法人白寿会令和 3 年度収支決算報告（案）について

第 3 号議案 社会福祉法人白寿会令和 3 年度社会福祉充実残額及び令和 4 年度社会福祉充実計画の策定について

第 4 号議案 令和 4 年度白寿園ケアハウス空調設備改修工事の請負契約の締結について

第 5 号議案 社会福祉法人白寿会施設整備積立資金計画（ケアハウス拠点）の一部変更について

第 6 号議案 白寿園ケアハウス拠点における前期末支払資金残高の取崩しについて

第 7 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第一次

補正予算（案）について

第 8 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度 6 月期期末勤勉手当の支給（案）について

第 9 号議案 社会福祉法人白寿会なないろ保育園運営規程の一部改正について

第 10 号議案 社会福祉法人白寿会保育料徴収規程細則の一部改正について

第 11 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度第 1 回評議員会（令和 4 年定時評議員会）の招集について

◆令和 4 年度第 2 回理事会

令和 4 年度第 2 回理事会 令和 4 年 9 月 22 日（金） 午前 10 時

出席者 理事 6 名 監事 2 名

報 告

報告第 1 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度 4 月期～7 月期事業報告について

報告第 2 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度 4 月期～7 月期収支報告について

議 案

第 1 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第二次補正予算（案）について

第 2 号議案 社会福祉法人白寿会なないろ保育園運営規程の一部改正について

第 3 号議案 社会福祉法人白寿会 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

第 4 号議案 企業主導型保育事業立入調査の結果に基づく改善報告に承認について

協議事項

第二白寿園増床に伴う資金調達について

連絡・報告事項

新型コロナウイルス感染報告

◆令和 4 年度第 3 回理事会

令和 4 年度第 3 回理事会 令和 4 年 11 月 21 日（月） 午前 9 時 30 分～

出席者 理事 5 名 監事 2 名

報 告

報告第 1 号 第二白寿園増床計画の進捗について

議 案

第 1 号議案 社会福祉法人白寿会理事長の職務執行状況報告について

第 2 号議案 社会福祉法人白寿会業務執行理事の職務執行状況報告について

第 3 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度上半期事業報告について

第 4 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度上半期収支報告について

第 5 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度 12 月期 期末・勤勉手当の支給（案）について

第 6 号議案 社会福祉法人白寿会令和 4 年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第三次補正予算（案）について

第 7 号議案 社会福祉法人白寿会給与規程の一部改正について

第 8 号議案 第二白寿園増床に伴う資金調達について

第9号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度第2回評議員会（令和4年定時評議員会）の招集について

◆令和4年度第4回理事会

令和4年度第3回理事会 令和5年3月10日（金） 午前9時30分～

出席者 理事5名 監事2名

報告

報告第1号 社会福祉法人白寿会特別養護老人ホーム第二白寿園外構・造成工事の契約締結について
議 案

第1号議案 社会福祉法人白寿会理事長の職務執行状況報告について

第2号議案 社会福祉法人白寿会業務執行理事の職務執行状況報告について

第3号議案 社会福祉法人白寿会保育料徴収規程の一部変更について

第4号議案 社会福祉法人白寿会施設整備等資金積立計画の一部変更（白寿園特養拠点、第二白寿園拠点）（案）について

第5号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第四次補正予算（案）について

第6号議案 社会福祉法人白寿会令和5年度事業計画（案）について

第7号議案 社会福祉法人白寿会令和5年度当初予算（案）について

第8号議案 特別養護老人ホーム白寿園施設長の任免について

第9号議案 社会福祉法人白寿会業議員選任・解任委員の補充について

第10号議案 第二白寿園増床工事に伴う入札方式及び入札参加資格者選定について

第11号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度第2回評議員会（令和4年定時評議員会）の招集について

第12号議案 社会福祉法人白寿会令和4年度指導監査結果に係る改善措置について

第13号議案 特別養護老人ホーム第二白寿園増築工事に係る資金調達について

協議事項

令和5年度人事体制について

◆令和4年度第1回評議員会

令和4年度第1回評議員会 令和4年6月16日（木）

出席者 評議員7名 理事3名 監事1名

報告

報告第1号 社会福祉法人白寿会令和3年度事業実績報告について

報告第2号 令和4年度白寿園ケアハウス空調設備改修工事の請負契約の締結について

報告第3号 社会福祉法人白寿会施設整備積立資金計画（ケアハウス拠点）の一部変更について

報告第4号 白寿園ケアハウス拠点における前期末支払資金残高の取崩しについて

報告第5号 社会福祉法人白寿会令和4年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第一次補正予算について

報告第6号 社会福祉法人白寿会令和4年度6月期期末勤勉手当の支給について

報告第 7 号 社会福祉法人白寿会なないろ保育園運営規程の一部改正について

報告第 8 号 社会福祉法人白寿会保育料徴収規程細則の一部改正について

議 案

第 1 号議案 社会福祉法人白寿会令和 3 年度収支決算報告について

第 2 号議案 社会福祉法人白寿会令和 3 年度社会福祉充実残額及び令和 4 年度社会福祉充実計画の策定について

◆令和 4 年度第 2 回評議員会

令和 4 年度第 2 回評議員会 令和 4 年 11 月 28 日（月） 午後 3 時 30 分

出席者 評議員 7 名 理事 3 名 監事 1 名

報告

報告第 1 号 社会福祉法人白寿会理事長の職務執行状況報告について

報告第 2 号 社会福祉法人白寿会業務執行理事の職務執行状況報告について

報告第 3 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度上半期事業報告について

報告第 4 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度上半期収支報告について

報告第 5 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度 12 月期 期末・勤勉手当の支給について

報告第 6 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第三次補正予算について

報告第 7 号 社会福祉法人白寿会給与規程の一部改正について

報告第 8 号 第二白寿園増床計画の進捗について

議案

第 1 号議案 第二白寿園増床に伴う資金調達について

◆令和 4 年度第 3 回評議員会

令和 4 年度第 3 回評議員会 令和 5 年 3 月 24 日（金） 9 時 30 分～

出席者 評議員 7 名 理事 3 名 監事 1 名

報告

報告第 1 号 社会福祉法人白寿会理事長の職務執行状況報告について

報告第 2 号 社会福祉法人白寿会業務執行理事の職務執行状況報告について

報告第 3 号 社会福祉法人白寿会保育料徴収規程の一部改正について

報告第 4 号 社会福祉法人白寿会施設整備等資金積立計画の一部変更（白寿園特養拠点、第二白寿園拠点）について

報告第 5 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度特養拠点、ケアハウス拠点及び第二白寿園拠点第四次補正予算について

報告第 6 号 社会福祉法人白寿会令和 5 年度事業計画について

報告第 7 号 社会福祉法人白寿会令和 5 年度当初予算について

報告第 8 号 特別養護老人ホーム白寿園施設長の任免について

報告第 9 号 第二白寿園増床工事に伴う入札方式及び入札参加資格者選定について

報告第 10 号 社会福祉法人白寿会令和 4 年度指導監査結果に係る改善措置について

報告第 11 号 特別養護老人ホーム第二白寿園増築工事に係る資金調達について

報告第 12 号 社会福祉法人白寿会特別養護老人ホーム第二白寿園外構・造成工事の契約締結について

協議事項

令和 5 年度人事体制について

(2) 監事監査及び内部監査

監事監査 開催日	出席	協議・審議事項
令和 4 年 5 月 10 日	監事 2 名 他	①令和 4 年度事業執行について
		②令和 4 年度決算状況について

内部監査 開催日	出席	対象部局
令和 4 年 9 月 13 日	古本、伊藤	白寿園居宅介護支援事業所
令和 4 年 11 月 24 日	古本、伊藤	白寿園ケアハウス

(3) 優先入所検討会

令和 4 年度においても退所者が多く、入所者の確保を目的に優先入所検討会を 5 回開催しました。直近の検討会は令和 5 年 4 月に実施した検討会による最新の待機者数は白寿園名／第二白寿園名となっています。

白寿園優先入所検討会の実施

No.	開催日	出席	協議・審議事項	待機者
1)	令和 4 年 4 月 18 日	外部委員 2 名 法人職員 12 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	20 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
2)	令和 4 年 7 月 19 日	外部委員 2 名 法人職員 12 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	31 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
3)	令和 4 年 9 月 22 日	外部委員 3 名 法人職員 12 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	35 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	

4)	令和 5 年 1 月 16 日	外部委員 3 名 法人職員 11 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	20 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
5)	令和 5 年 2 月 10 日 (臨時)	書面による	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	17 名 要介護 3 以上 の入所希望者 稟議にて
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③特例入所に関する検討	

第二白寿園優先入所検討会の実施

No.	開催日	出席	協議・審議事項	待機者
1)	令和 4 年 4 月 18 日	外部委員 2 名 法人職員 11 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	17 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
2)	令和 4 年 7 月 19 日	外部委員 2 名 法人職員 11 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	16 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
3)	令和 4 年 10 月 18 日	外部委員 3 名 法人職員 11 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	21 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
4)	令和 5 年 1 月 26 日	外部委員 3 名 法人職員 11 名	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	9 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	
5)	令和 5 年 3 月 15 日 (臨時)	書面による	①前回作成名簿からの入所状況及び 申し込み状況	9 名 要介護 3 以上 の入所希望者
			②優先入所名簿／上位者の状況報告	
			③緊急性・特別な状況のあるケース	

(3) 令和 4 年度白寿会の主な契約締結事項

No	契約等名称	契約の相手	契約金額	契約締結日
1	白寿園ケアハウス 空調設備改修工事	浜松市中宇池町 220-4 日管株式会社 代表取締役会長 三輪容次	11,000,00 円	令和 4 年 5 月 27 日

		郎		
2	特別養護老人ホーム第二 白寿園増床に伴う外構・造成工事	磐田市川袋 483 株式会社小笠原 代表取締役 小笠原守之助	8,800,000 円	令和 5 年 1 月 26 日

(4) 令和 4 年度白寿会指導監査報告

開催日	出席	指摘事項
令和 5 年 1 月 18 日	磐田市職員 4 名 理事長 監事 2 名 法人職員 8 名	< 文書指摘 > ・ 評議員会の議案について特別な利害関係の有する者がいないことを確認すること。 < 口頭指導 > ・ 評議員会を招集する場合は、必ず、評議員会の日時、場所、議案を理事会の決議によって定め、当該決議された内容に基づき評議員会を開催すること。 < 助言 > ・ 定款の条ずれ

(5) 令和 4 年度なないろ保育園指導監査報告

開催日	出席	指摘事項
令和 4 年 12 月 2 日	県職員 1 名 磐田市職員 1 名 理事長 法人職員 3 名	・ なし

2 令和4年度 事業報告 特別養護老人ホーム白寿園

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

入所者の動向については、令和4年度における退所者数は27名、入所者数は28名でした。令和5年3月末時点での入所者の平均年齢は85.4歳、平均介護度は3.77です。稼働率は97.6%、前年度平均と比較すると1.0%の下降となりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターを2度発生させてしまい、終息までの期間、入所の受入を制限したため稼働率に大きく影響がでてしまいました。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	2097	2078	2061	2170	2165	2100	2128	2093	2117	1938	1847	2147	24941
R3年度	2080	2133	2072	2149	2106	2093	2139	2057	2128	2157	1948	2125	25187
R2年度	2092	2150	2097	2125	2161	2100	2169	2089	2165	2151	1915	2163	25377

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

令和4年度は、ご入所者、ご家族・保証人様、地域の方々に、白寿園は全てにおいて「ご入所者が最優先である」というイメージを抱いていただけるよう打ち込みました。それは業務が優先的ではなく、目の前のご入所者の思いにいつでも応える姿勢、これこそが年月をかけて積み上げた白寿園の財産であり、原点であるという思いを胸に更なる飛躍的な発展を遂げられるように努めました。

事業コンセプトを達成するために当園では、各部署が目標を設定し進捗管理を行いました。

令和4年度 施設ケアマネ活動コンセプト

コンセプト	「ご入所者の声を大切に」			
	介護保険施設ケアマネジメント実務の手引きより、施設の場合、計画作成介護支援専門員とその他の職種が同じ施設に所属していることから、計画担当介護支援専門員が施設・職員側の立場に立ってしまう危険性があります。そのような事態を防ぎ、同じ施設に所属していることがデメリットとならないように、ご入所者のアドボカシー（代弁）機能を重視して計画の作成に努めます。			
活動目標①	ご入所者への丁寧な説明と的確な記録を心掛ける。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	90点	95点

アウトプット ・施設サービス計画原案作成後に、ご入所者のもとへ行き、内容を説明するよう心掛けた。

▶説明をした場所やその時のご入所者の言葉、表情等を支援経過へ記録した。

▶説明時、介護の専門用語をできるだけ少なくし、平易にした。

・施設サービス計画原案第 1 表へ、ご入所者やご家族が、白寿園での生活において望まれていることや今後の療養に関する意向等、ありのままの表情や言葉を記すようにした。

アウトカム ・事業所評価アンケートにおいて、施設サービス計画については、ご本人、ご家族の意向や要望が配慮されていると思われますか、という項目に 90%の方に大変満足している又は満足しているという評価をいただいた。

活動目標②	明日の介護に生かすデスカンファレンスの実施。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80 点	90 点	95 点

アウトプット ・デスカンファレンスを毎月の最終火曜日（サービス担当者会議の日）に実施した。

退所者数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月
1 名	2 名	2 名		1 名		1 名	1 名	5 名	8 名	4 名	2 名

デスカンファレンスの開催

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月
	1 件	1 件	1 件	1 名		1 件	1 件	2 件			

アウトカム ・看取り介護に「これが正解。」というものはないと思います。だからこそ、1 つ 1 つの事例を通じて学んだことを丁寧に振り返りました。そして、多職種において共有し、ケアの向上、そして、経験の浅い職員の育成に繋げることができました。

活動目標③	適切なケアマネジメント手法を取り入れる。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		60 点	70 点	80 点

アウトプット ・適切なケアマネジメント手法を皆で学び始めた。
 ▶介護支援専門員更新研修を受講しているものからの報告を受け、知識を深めた。
 ・ケアマネ／相談員研修へ参加。
 ▶実際に事例を通して、計画の作成を体験した。

アウトカム ・ケアマネジメントの質の向上のため、適切なケアマネジメント手法を徐々に取り入れ活用していくことが重要であることを痛感した。

令和4年度 生活相談員活動コンセプト

コンセプト	「白寿園をより多くの方に知っていただきたいです。」			
白寿園の歴史を汚すことなく、また、その歴史に驕ることなく、地域の拠点として、近い未来に向けて、地域包括ケアシステムを担うことができる体制作りに努めます。地域の方々、ご入所者やご家族、皆様から気軽にご相談をいただけるよう常に研鑽に励みます。				
活動目標①	「入所待機者の安定的な確保を目指します。」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・優先入所検討会を定期的に行った。
 - ▶4月、7月、10月、1月に開催。
 - ▶入所待機者の状況から2月に臨時で開催をした。
 - ・入所者申込者の状況を毎月の法人運営会議にて報告した。
 - ・入所申込については、柔軟性のある対応を心掛けた。
 - ▶家族等が県外にお住いの場合には、入所申込書を郵送し、電話にて説明、聞き取り等を行った。

- アウトカム
- ・入所の申込は、以下のとおりです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2件	6件	4件	7件	5件	5件	6件	3件	6件	5件	9件	5件

- ▶入所申込者の1ヶ月平均は、5.2名だった。（令和3年度の1ヶ月平均が6.3名）

- ・第1・2・3・4・5回の優先入所検討会の名簿への登録者数（入所待機者数）は、要介護1・2の方を含めて、

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
51人	61人	65人	54人	55人

- そのうち、すぐ入所したいとの希望者が、

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
20人	31人	35人	20人	17人

- ・下半期は、退所者が多く、新規入所者の確保に苦慮した。

活動目標②	飛躍的なITC化への取り組み	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・各部署の記録について、パソコン（介護用ソフト「ワイズマン」）への入力を開始した。
 - ▶全職員、誰でも気軽にパソコン操作を学ぶことのできるよう支援した。
 - ・8月3日（水）の13時から、白寿園地域交流室において、株式会社ワイズマンの担当の方にお越しいただき、操作についての説明を受けた。

- ▶各部署が、記録をパソコンで入力し、その記録を施設ケアマネが取込、支援経過でまとめるという作業を開始した。

- アウトカム
- ・多職種の記録が取り込まれたことで、記録をたどり、経過の振り返りがし易くなった。
 - ・記録の重要性を再認識した。

令和4年度 医務活動コンセプト

コンセプト	「綿密・厳密、人間味」			
ご入所者の健康管理について、細部に注意を払い配慮をしていきます。そして、業務には厳しい姿勢で、早期発見、早期対応に心掛けます。ただ、機械ではありません。人間味のある、人と人との関係性を大切にし、やさしさを持って対応に努めます。				
活動目標①	「健康管理」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・異常の早期発見、早期対応に努めた。
 - ▶令和4年5月3日に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された。その後、クラスターとなってしまった。感染症シミュレーション訓練については、今回のクラスター発生から終息までを教訓として計画を立案し、令和4年9月に感染者発生時の机上訓練を行った。
 - ▶令和4年12月19日に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生してしまった。
 - ▶令和5年2月9日に感染症シミュレーション訓練の2回目を行った。
 - ▶職員が定期的に新型コロナの抗原検査を行った。
 - ▶7月、ご入所者が新型コロナワクチン4回目、12月には5回目の接種を行った。
 - ・毎月の褥瘡予防委員会へ参加した。
 - ▶皮膚の状態について、発赤等で気になるご入所者をこまめに委員会内で報告した。
 - ▶褥瘡が発生してしまった場合には、主治医へ上申し指示を受け、洗浄と軟膏塗布等の処置を行い、そして、多職種と連携し、圧を取り除くこと、ズレを防ぐこと、そして、栄養の管理を行い治癒に向け対応した。

- アウトカム
- ・クラスターを体験したことによって、全職員がスタンダードプリコーションを忠実に行うようになった。
 - ・持ち込まない、拡げない、持ち出さない、の感染対策を再度徹底した。

令和4年度 機能訓練活動コンセプト

コンセプト	「障壁の有効活用」			
集団での生活の中には様々な障壁があります。白寿園ではホール・食堂から居室までの距離が長かったり、皆さんが集う場所が広がったり、トイレが共同であったり、トイレへ行くまでの距離も結構あったりします。しかし、それをも活用し集団だからこそ生かされる個性を大切に、保有している機能の維持に努めます。				
活動目標①	「個別機能訓練の実施」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	90点	95点

- アウトプット
- ・事前準備として、各部署からの報告をとりまとめ、多職種カンファレンスに臨むことで、スムーズにカンファレンスが進行し、情報収集をすることができた。
 - ▶介護職員が、月毎に担当を決め、積極的にカンファレンスへ臨んでくれるようになった。
 - ▶カンファレンスで話し合い、決めたことを介護職員が直ぐに取り組む姿勢がみられた。
 - ・個別機能訓練加算Ⅱの算定取得に向けて、介護用ソフト「ワイズマン」を使用して計画書の作成を開始した。

- アウトカム
- ・カンファレンスでは、ご入所者に対する思いを出席者全員で素直に話し合える環境作りに努めることで、結果、多職種間の連携の強化に繋がり、ご入所者への対応方法が以前より共有できた。

令和4年度 栄養活動コンセプト

コンセプト	「三度の飯が好き」			
1日3回の食事の提供について、日々の健康状態や栄養状態に配慮し、食事形態、体調不良時等の個人対応を迅速に行い、「白寿園の食事が好き」と言ってもらえるように努めていきます。ご入所者の嗜好を把握し、管理栄養士を中心に委託事業者との連携を図りながら、時にはイベント食を取り入れ、毎日の食事の提供方法に趣向をこらしながら、各部署と連携をし「食事の楽しみ」「食べることの楽しさ」を広げていきます。				
活動目標①	「食事を安全に、楽しく食べる」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・衛生管理は、マニュアルに基づき対応をした。
 - ▶異物混入事故が1件発生してしまった。
 - ・委託業者と話し合い、嚥下調整食についての見直しを開始した。
 - ・食事提供時間帯での重度事故が2件発生してしまった。
 - ・季節の行事や白寿園のイベントに合わせた行事食を提供した。

誕生会		ご当地メニュー	
4月	海鮮ちらし寿司	千葉県	太巻き寿司
5月	握り寿司	高知県	かつおのたたき
6月	ちらし寿司	宮城県	冷やし中華
7月	冷やしそば	神奈川県	海軍カレー
8月	うなぎちらし寿司	香川県 徳島県	なすそうめん
9月	いなり寿司	茨城県	焼き栗コロッケ
10月	ちらし寿司	福井県	ソースカツ丼
11月	握り寿司	奈良県	かしわのすき焼き
12月	オムライス	福岡県	柳川鍋風
1月	握り寿司	三重県	てこね寿司
2月	海鮮丼	岡山・山口県	デミカツ丼・けんち ょう
3月	握り寿司	山梨県	ほうとう風煮込みう どん

アウトカム ・食事に関する事故発生後直ちに、食材に関する見直しを行った。特に、パンについては、提供を継続するかどうかをまず皆で話し合った。その後、提供を継続する上での注意点を改めて多職種で話し合い、提供方法、そして、パンの形態や種類等を検討し、改善に向けて取り組んだ。

活動目標②	「栄養ケアマネジメントの実施」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	90点	95点

アウトプット ・ご入所者の食事の観察（ミールラウンド）を週3回以上行い、食事摂取状況に問題がないかを確認した。

- ・栄養ケア会議を毎月行った。
 - ▶ご入所者に体重減少がみられた場合には、直ちに栄養改善に向けて検討し、対策を講じた。
- ・看取り期における食事を多職種で検討した。
- ・新規入所者については、入所後速やかに多職種で食事の様子を確認することにした。

アウトカム ・とにかく多職種間で情報を共有すること。そして、新規の方や状態の変化等がみられる方には、皆へ伝達をし、速やかに食事の観察を行うよう心掛けた。

令和4年度 笑門（介護）活動コンセプト

コンセプト	「一人一人に快適な日々を 丁寧な介護で」 ご入所者が、心配事がなく、安全に安心して過ごしていただけるよう、その方の快適な日々を丁寧な介護で援助をしていきます。		
-------	--	--	--

活動目標①	安楽な座位姿勢の支援。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	90点	95点

- アウトプット
- ・2名のご入所者について、多職種と連携をし日中の過ごし方として、車椅子から椅子への座り替えを行った。
 - ・リクライニング車椅子使用の方については、多職種で検討し、ベッドから車椅子への移乗時のポジショニングとタオルやクッションの使用方法を統一することで、安定した乗車姿勢を保持できる時間が増えた。
 - ・車椅子の清掃、そして、点検をし、補修箇所は修繕を依頼した。
 - ・椅子や車椅子上でご入所者の崩れかけた姿勢に気付き整えた場合、状況に応じではリスクを想定し、ヒヤリハット報告を挙げるようにした。

- アウトカム
- ・ご入所者の姿勢の崩れは、気付き次第速やかに直すようになった。そして、職員間で互い声を掛けあうことを心掛けるようになった。
 - ・姿勢が乱れるということは、心身の不調に繋がっているのではないかと感じた。

活動目標②	いつもの場所は、いつも綺麗にします。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・ホール兼食堂や廊下、そして、ご入所者の居室床の剥離・ワックスがけについては、計画を見直し実施する予定。
 - ▶感染症発生等の影響により計画が遅延してしまったが、まず、201 から 208 号室の剥離・ワックスがけを終えることができた。
 - ▶感染症発生の影響で、剥離・ワックスがけではなく、全部屋の消毒と清掃、そして、環境整備を行った。

- アウトカム
- ・手間を惜しまず、汚れに気づいたら直ぐに綺麗にすることを心掛けた。（習慣化へ）
 - ・感染症対策の点からも、環境美化に努めることの大切さを痛感した。

令和4年度 福来（介護）活動コンセプト

コンセプト	「一人一人を大事に 丁寧な介護を」 16名のご入所者と職員が大きな家族のように、毎日の生活の場で安心して気持ちよく過ごすことができる介護を目指します。			
活動目標①	ご入所者にあった介護方法を常に考えます。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	90点

- アウトプット
- ・ケア会議で話し合ったことを多職種カンファレンスで情報を発信することができた。
 - ▶看取り介護が開始されたケースについては、積極的に福来として意見を伝えた。
 - ・福来では、情報共有の第一の場をケア会議と捉え、可能な限り全員が参加するようにした。
 - ・ご入所者が一日の中で大切にしている時間や譲れないこだわりを支援するようにした。
 - ▶顔のお手入れの仕方であったり、ベッド周囲の配置の仕方など。

- アウトカム
- ・ご入所者の食事、排泄、入浴以外の部分でも、愛すべきルーティーンについてはできる限り寄り添わせていただくよう努めた。するとお一人お一人をもっと知りたい、一緒に楽しみたい、という思いが強くなった。

活動目標②	ご入所者へ担当介護職員として積極的に関わります。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・担当介護職員の役割をケア会議で話し合い、担当介護職員マニュアルの作成を開始した。
 - ▶まず、整容（特に爪切り、ビューティーサポートの予約）と居室の整備が役割として決まった。
 - ▶入退所時の対応について、「分かり難い。」という意見がケア会議で聞かれたため、業務の可視化を行った。
 - ▶状態変化時の居室への準備物等について、全ての職員が整えられるようになった。

- アウトカム
- ・担当介護職員としての業務の可視化に取り組む中で、併せて業務の見直しを心掛けた。担当がすべきこと、皆ですべきことの調和が図れた。
 - ・担当をある程度固定し続けていると、ご入所者ことをもっと知ろうと心掛けるようになった。

令和4年度 事務活動コンセプト

コンセプト	「好感度アップ&キープ 迅速・丁寧、そして正確に」
法人窓口として、安心安全を守り、業務が正しく明瞭であるよう気配り・目配りをしていきます。	

活動目標①	「金銭管理の徹底」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・出金時、ダブルチェックを継続して実施し、不正防止を徹底した。
 - ▶入金遅れや利用料請求の間違い、出金金額の間違い等のミスが発生してしまった。
 - ・金銭預り時の一時保管方法について、手順の見直しを行った。
 - ・事務所内では、職員同士が声を掛け合い、情報の共有に努めた。

- アウトカム
- ・常に複数人で確認し合うこと、そして、互いの業務に関心を持ち、気を配るよう心掛けた。

活動目標②	「ホームページの活用拡大」	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・法人概要、経営状況（決算報告）等の更新をした。
 - ▶コロナクラスター発生時は、ホームページから情報を発信した。
 - ・各事業所ページの更新をした。
 - ▶ホームページのデザインについて、検討した。（見やすさはどうかな等）
 - ・Twitterを再開設（ホームページ上に掲載）。運用方法の検討をした。

- アウトカム
- ・仕事や結婚等で地元（竜洋地区）を離れて生活を送られている方々が、ご自分の両親のために、と白寿園のホームページを見てくださっていることを知り、その思いに応えられるようにしなくてはならないと痛感した。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

白寿園では、令和4年5月3日夕刻、白寿園ショートステイご利用者3名が38度台の高熱を発し、施設所有の抗原定性検査を実施したところ、全員の陽性が確認されました。その後、白寿園の新館ご入所者、そして、職員の間で急速に感染が拡がりクラスターとなり、感染拡大防止の対応として、ゾーニングを開始しました（ゾーニングは、終息宣言発出まで継続しました）。

クラスター発生時には、5月5日にDMAT（災害派遣医療チーム）、6日、9日、12日には磐田市立総合病院感染対策室の感染管理認定看護師とDMATの方が訪問して下さり、専門的見地からの指導をいただきました。そして、嘱託医師である山崎先生、大津先生、静岡県介護指

導課、静岡県西部保健所、磐田市高齢者支援課、磐田市健康増進課との連携を図り対応を強化しました。

ご家族等には、園内での状況を随時、お手紙を送付、且つ、同時にホームページへ掲載し情報を発信しました。このクラスター発生時の対応を踏まえ、事業継続計画（BCP）の内容の見直しを行い、その事業継続計画（BCP）をもとに、令和4年9月8日に感染者発生時の机上訓練と本館にて感染者が発生した場合の HUG（ハグ）訓練を行いました。

そして、令和4年12月11日、本館において新型コロナ陽性者発生し、その後、12月19日に白寿園としては2度目のクラスターとなってしまいました。令和5年1月20日に終息、隔離解除となりました。少し遅れて、新館においても12月27日に新型コロナ陽性者が発生。その後、クラスターとなってしまいました。令和5年2月15日に終息・隔離解除することができました。その経験から、再度、感染症が発生したことを想定し、ガウンテクニックの正しい方法を訓練しました。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

該当なし。

3 令和4年度 事業報告 白寿園居宅介護支援事業所

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

当年度初めの実績減については、前年度末に職員1名の退職による理由が大きく、10名近くが担当事業所の変更を行ったことによるものです。4月から、1名が入職したことにより、実績数を増やしており、単月の比較では10月より前年度比で増加に転じています。ただ、上半期の実績減の影響が大きく、総実績では前年度で11.5件の微減となっています。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	179.0	181.5	185.5	191.5	192.0	188.5	197.5	196	191.5	192.5	196	197	2288.5
R3年度	197.5	194.5	193.5	192.5	191.5	186.5	193.5	190	193.5	191.5	187	188.5	2300
R2年度	214.5	210	204	205.5	205.5	211	211	214	211	208.5	206	205	2506

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

コンセプト	『貴方』がいるから頑張れる。そんな『貴方』になりたい。
-------	-----------------------------

高齢になって、介護が必要となっても住み慣れたこの家でずっと過ごしたい…これは誰もが当たり前に持つ願いです。この当たり前の気持ちに寄り添い、利用者・家族の持っている力を十分に引き出しながら支援をする、そんな『貴方』になりたいと思います。

活動目標①	質の高い適正なケアマネジメントの実施	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

アウトプット ・前年度に引き続き、前6か月間の訪問介護等のサービス紹介率、及び該当するサービスの紹介事業者割合を重要事項説明書に記載し、新規利用者等に説明を行うことで、

公平性・中立性の確保に努めました。

・9月度には内部監査を実施し、これまでの業務を振り返るとともに、各種記録類の整備について確認しています。

・9月度に行われた磐田市運営指導においても、居宅介護支援事業の展開において問題点の指摘はありませんでした。

アウトカム ・公平性、中立性の確保について、サービス利用の紹介率を確認することにより、適切なケアマネジメントができた。

・磐田市の運営指導、法人内部監査などにより遵法性の確保が確認されました。

訪問介護 (15.29%)	白寿園 (53.29%)	ニチイ学館 (15.13%)	セントケア富士見 (11.84%)
通所介護 (66.60%)	白寿園 (37.16%)	ケアステーションあさ ひ磐田福田 (13.44%)	遠州鉄道 (10.57%)
福祉用具貸与 (69.32%)	ちゅーぶ (21.12%)	まんてん (18.58%)	プレジール (14.08%)

活動目標②	介護支援専門員の資質向上	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・週に1回、ケアマネ会議を開催し、介護支援専門員としての学びを深めています。
 - ・特に今年度は、「適切なケアマネジメント手法」と呼ばれる新たなケアマネジメント方式が国から示されていることを受け、毎週会議内で実施している「事例検討」において、適切なケアマネジメント手法を用いた検討会を行っています。
 - ・年度を通じて「適切なケアマネジメント手法」に基づくケアマネジメントを5人の介護支援専門員が自らの担当する事例に当てはめて活用しています。また、同テーマに基づく介護支援専門員・生活相談員研修を令和4年12月度に開催しました。
 - ・4～9月度までに「適切なケアマネジメント手法」に基づくケアマネジメントを3人の介護支援専門員が自らの担当する事例にあてはめて活用しています。
 - ・特定事業所加算の要件となっている他法人の居宅介護支援事業所と共同実施する「事例検討会」を7月度に1回目、11月に2回目、3月に3回目を開催しました。
 - ・今年度も磐田ケアマネ連絡会の役員を継続し、法人を超えて市内のケアマネジャーとも連携を図っています。また、磐田ケアマネ連絡会「事例研究部会」の事例検討会に1名が参加しています。自らの事例を提供しており、関係事業所との地域課題の共有や適切なケアマネジメント手法の研鑽に努めています。
 - ・本年度は1名の主任介護支援専門員更新研修を修了し、新たに1名が主任介護支援専門員研修を修了しました。

- アウトカム
- ・毎週のケアマネ会議開催を継続し、適切なケアマネジメント手法の学びを含む各種制度やケアマネジメント技術を学ぶことができ、資質向上に繋がりました。
 - ・法令遵守に関しては、「よくわかる指導方針」（最新-令和4年度後期版）を作成し、上記ケアマネ会議で研修を継続しました。
 - ・主任介護支援専門員の会を中心に、介護支援専門員・相談員研修を計5回、他法人との事例検討会を年間3回、企画研修することで、集合研修とは違うリモートによる研修を体験でき地域貢献や自己のスキルを確認することができ、次に繋がるものとなりました。

活動目標③	感染予防！ 仕事がしやすい環境をつくる。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70 点	80 点	85 点

アウトプット ・4 月度の介護支援専門員・生活相談員研修において、感染症 B C P をテーマに研修を行いました。

・マスクの着用／手洗いを徹底するとともに、出勤時等の体調チェックを継続しています。

・事業所内の消毒／換気／昼食休憩の分散取得を行い、感染予防を徹底しています。

・状況に応じ、感染症業務継続計画（B C P）の見直しを行いました。

・7 月以降は月に 1 回、12 月より週 2 回、抗原定性検査を実施しています。

・9 月度には、感染症業務継続計画（B C P）に基づくシミュレーション訓練を実施しました。

アウトカム ・事業所におけるコロナ等の感染症の発生した際に、感染症マニュアルならびに定期の抗原定性検査の活用により、新たな感染発生を予防することができました。

・法人内でのクラスター発生を経験し、介護支援専門員として必要な居宅サービスの調整を行いました。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

・5 月度に法人内の特養／短期入所生活介護事業所でコロナ感染症のクラスターが発生し、短期入所生活介護利用者の日程等の調整を行いました。

・6 月度に法人内の特養／短期入所生活介護事業所でコロナ感染症のクラスターが発生したことを受け、業務継続計画（B C P）を修正しています。

・7 月度に感染者等との接触対応の見直し／居宅サービス計画記載等の内容を中心に業務継続計画（B C P）を修正しました。

・7 月度に介護支援専門員と訪問介護員が訪問した利用者に新型コロナウイルス感染を認め、当該職員は、法人の規定に従って一定期間自宅待機をし、感染を認めないことを確認の上、業務に復帰しました。

・9 月度には、感染症業務継続計画（B C P）に基づくシミュレーション訓練を実施しました。

・1 月に事業所内にて職員 1 名が新型コロナウイルス感染症に罹患しました。従前の法人での感染症対策に準じて対応を行い、新たな感染者を発生することなく業務の継続を行うことができました。

4 令和 4 年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

・内部監査の実施 令和 4 年 9 月 13 日

白寿園居宅介護支援事業所の運営体制／各介護支援専門員の居宅介護支援の状況の確認。

運営上必要な書類が整備できている。また、居宅介護支援についても磐田市規則に沿った的確なサービス提供がなされていた。

・磐田市運営指導 令和4年9月15日

指定権者である磐田市から2人の所員が来所して、改正された運営指導マニュアルに沿った確認が行われた。文書指摘はなく、助言事項としてサービス担当者会議の実施について可能であれば関係者全員が参集した会議を開催することが望ましいとの指摘があった。作成した感染症BCPについては良いとのことであった。

4 令和4年度 事業報告 白寿園第二居宅介護支援事業所

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

昨年度とほぼ横ばいの、利用実績になりますが、目標数は達しています。ケアマネジャーとしての経験も全員が3年目以上となりケアマネジメント業務に自信を付けたこと、また法廷研修から学びを得て個々の力が付いたことから、安定したケアマネジメント支援が出来た結果だと考えます。

令和3年度より、医療介護連携加算（利用者一人あたり125単位追加）算定しています。医療介護連携加算の要件（年間ターミナルケア加算5件、退院退所加算35件）は、ターミナルケア加算5件、退院退所加算45件達成し、令和5年度も引き続き加算されることとなり、安定した経営が確保されたと考えています。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	150.5	150	149	156.5	152	154.5	154.5	152.5	156	153	153.5	158.5	1840.5
R3年度	148	158	155.5	157	152	154.5	154.5	151	149	148.5	148	154.5	1830.5
R2年度	147	148.5	149.5	147	152	154.5	150.5	152	146	149	151	150	1797

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

コンセプト	『つなぐ、つなげる、あなたと共に…』
-------	--------------------

年をとっても、病気を持っても、介護が必要になっても、自分らしく、住み慣れた家で馴染みの地域で暮らしていきたいものです。コロナ感染症等の蔓延に伴い、高齢者の生活にも大きな影響が出ている事も踏まえ、より一層、つながりのある暮らしを支援していく。介護保険のプロとして、社会と人と気持ちを『つなぐ、つなげる、あなたと共に…』お手伝いできるように努めていきます。

活動目標①	感染症や災害に負けない支援を行う。	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・4月度の介護支援専門員・生活相談員研修において、感染症BCPをテーマに研修を行いました。
 - ・マスクの着用／手洗いを徹底するとともに、出勤時等の体調チェックを継続しています。
 - ・事業所内の消毒／換気を行い感染予防に徹底しています。
 - ・状況に応じ、感染症業務継続計画（BCP）の見直しを行います。
 - ・7月以降は月に1回、抗原定性検査を実施していきます。

- ・磐田市南部地区居宅介護支援事業所間（結の会ネットワーク）で、緊急時の居宅介護支援事業者同士のネットワーク構築にむけ検討を重ね、9 月度には厚生労働省に照会をしました。

- ・災害時に起きやすい停電時の対応を具体的にケアプランに記載していきます。

- ・コロナ感染症が重症化する事が無いように、予防接種を推奨しケアプランに記載しました。

アウトカム

- ・結の会ネットワークでは、磐田市南部地区居宅サービス事業所間で、契約を締結しました。感染症等でケアマネジメント業務が滞った場合、事業所の枠を超え、介護支援専門員同士が支援を行う仕組みを作成しています。今後は対象者を絞りこみ、シミュレーション訓練を実施していく予定です。

- ・事業所内におけるコロナ等の感染症が発生した際に、感染症マニュアルに沿い対応し感染の拡大を防止し業務を継続することが出来ました。

活動目標②	根拠に基づいたケアマネジメントの展開	7 月達成率	10 月達成率	年間達成率
		80 点	80 点	85 点

アウトプット

- ・週に 1 回、ケアマネ会議を開催し、介護支援専門員としての法令遵守の学びを深めていきます。

- ・令和 4 年 6 月に発出された磐田市集団指導資料を事業所内で熟読していきます。

- ・法的根拠のみならず、「適切なケアマネジメント手法」と呼ばれる新たなケアマネジメント方式についてもケアマネ会議の中で試行的に取り入れていきます。

アウトカム

- ・本年 8 月には、運営指導に関する介護支援専門員・生活相談員研修を開催し、法的根拠に基づいたケアマネジメントを意識し就業することが出来ています。

- ・「適切なケアマネジメント手法」と呼ばれる新たなケアマネジメント方式についてもケアマネ会議の中で試行的に取り入れ、12 月時点ですべての介護支援専門員が同手法を用いたケアマネジメントを実践しました。事例を通して状態を深掘りし、ケアマネジメントを展開。より専門的な見地からの視点で、微力ながら習得することができています。

活動目標③	介護支援専門員の一人ひとりの資質向上	7 月達成率	10 月達成率	年間達成率
		80 点	90 点	95 点

アウトプット

- ・前述の「適切なケアマネジメント手法」をケアマネ会議の事例検討の場で活用し、ケアマネジメント力の向上を図るようにします。

- ・主任介護支援専門員が中心に、5 月に磐田市南部地区の BOP 策定を検討、9 月、「社会資源を生かした事例」について結の会で開催し、地域の介護支援専門員の資質向上につながる活動を行いました。

- ・今年度は事業所から 1 名が主任介護支援専門員研修、2 名が専門研修課程Ⅱを受講していきます。

- ・磐田ケアマネの研修／事例検討会に参加し、その学びを事業所内で共有しています。

アウトカム ・南部地区の在宅医師の指導にて、在宅療養多職種事例検討会に事例を提供し、各専門職から幅広く意見を交換、事例を通しての振り返りの場となりました。磐田市南部地区の事業所間の連携がより強く感じる事が出来たと思います。

活動目標④	地域に根差した事業所作り（地域の中の“顔”になる）	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

アウトプット ・前述の他法人／包括との事例検討会を開催していきます。

- ・南せいかつ応援クラブとの連携、会議に出席していきます。

アウトカム ・障害を持つ家族、慢性疾患を持つ本人など、多問題家族の支援について、行政、地域包括支援、医療関係者、障害福祉事業者など他機関との意見交換、課題の確認を行い各専門職の特性を生かした役割を整理し今後の支援方針などを検討、共有し関係各所と連携構築することが出来ました。

- ・南部包括支援センター主催の認知症フォーラムに参加し地域住民との交流を図ることが出来ました。ITを使った認知症視覚体験する事ができ、より一層に認知症の方の気持ちに寄り添い、理解を深める機会になりました。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

- ・5月度に法人内の特養／短期入所生活介護事業所でコロナ感染症のクラスターが発生し、短期入所生活介護利用者の日程等の調整を行いました。

- ・5月度には事業所の介護支援専門員が新型コロナウイルス感染症に感染し、自宅療養期間を経て職場復帰しています。

- ・6月度に法人内の特養／短期入所生活介護事業所でコロナ感染症のクラスターが発生したことを受け、業務継続計画（BCP）を修正しています。

- ・7月度に感染者等との接触対応の見直し／居宅サービス計画記載等の内容を中心に業務継続計画（BCP）を修正しました。

- ・7月度に事業所の介護支援専門員の同居家族が新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告がありました。濃厚接触者の認定を受けましたが、幸い当該職員の感染には至りませんでした。1週間の自宅待機期間は、リモートワークを行い職場へ復帰しています。

- ・9月度には感染症対策検討会で、令和4年度第1回感染症対策シミュレーション訓練を実施しました。また、感染症対策委員会としての内部監査を行いました。

- ・10月、12月度には、介護支援専門員がコロナウイルス感染症に感染したという報告がありました。感染症対策マニュアルの規程に沿った対応を行い、感染の拡大を予防しました。ケアマネジメント業務も継続することが出来ました。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

- ・特になし。

5 令和4年度 事業報告 磐田市竜洋地域包括支援センター

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

竜洋地域包括支援センターは、昨年度3月の介護予防支援・介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)のプラン数は184件でした。その後の件数は増加するであろうとの予測の下、今年度増減はありますが3月末時点で3件増加し181件となりました。直接担当件数は、昨年度と比較し10件増加しました。要介護状態への移行、介護申請の件数の全体的な増加、要支援認定者数の増加を踏まえ、今後も少しずつ増加がみられると考えます。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	44	44	48	38	43	43	42	40	38	39	39	39	497
R3年度	41	42	41	40	41	40	42	44	43	38	35	40	487
R2年度	41	39	40	44	41	39	40	39	41	41	39	39	483

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

今年度の事業コンセプトは、『コロナに負けない生活様式への理解と行動が進むよう、認知症予防やフレイル予防、終活やACPに取り組む竜洋住民が増えることを目指します。』としました。コロナ対策の新しい生活様式を日常的に実施する手立てに加えて、認知症やフレイルにならないための予防の手立て、認知症になっても進行を緩やかにする手立てを住民にお伝えしながら、認知症の人もその家族も安心して暮らせる地域、認知症の人とその家族と共に生きる地域を目指して活動します。また、人生の最期を地域で安心して暮らせるよう、住民の理解と行動が進むよう活動します。講座やカフェ、訪問により、延べ580名の高齢者に対して、周知・啓発活動をします。

昨年度と比較し、積極的な活動展開が出来ている。今後もより、高齢者含め地域活動やつながりがすすむよう働きかけやお手伝いができるように努めます。

コンセプト	コロナに負けない生活様式への理解と行動が進むよう、認知症予防やフレイル予防、終活やACPに取り組む竜洋住民が増えることを目指します。
-------	--

活動目標①	コロナ対策の新しい生活様式の周知・啓発	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		40点	50点	85点

アウトプット ・6月度に地域懇談会（西地区）（東北地区）『社会的孤立を防ぐために』83名参加。

・6月度にまちの保健室掛塚新町出張講座に協力。33名参加。

・6月度に竜洋地域支援チーム6者会議に参加。

- ・5、6 月度に竜洋地区社協企画運営会議に参加。
- ・7 月度に質の良い睡眠とストレス軽減と乳酸菌のテーマでウエルカフェ 8 名参加。
- ・7 月度に交流センター講座（介護保険を知ってもらおう）16 名の参加。
- ・7 月度に西平松サロン 20 名参加。
- ・竜洋中島、ひまわりの郷、掛塚本町、駒場ふれあい荘、豊岡団地、白寿園ゲハウスでの買い物支援
 - ▶とくし丸、JA ときめきマルシェ
- ・コロナワクチンの予約の支援を継続。
- ・8～9 月度に職員を対象に 4 回目のコロナワクチンの接種。
- ・9 月度に法人全体での感染対策委員会内部監査の実施／感染症シミュレーション訓練の実施。
- ・10 月度白羽ノルディックウォーク 10 名参加。
- ・10 月度ウエルカフェ 8 名参加。
- ・10 月度ふれあいカフェ 8 名参加『質の良い睡眠とストレス軽減』
- ・11 月度東地区ノルディックウォーク 14 名参加。
- ・12 月度ふれあいカフェ 8 名参加『介護予防で健康寿命延伸』
- ・12 月度西平松サロン 出前講座『新年を元気に迎えよう(コロナ下の生活)』 20 名参加
- ・12 月度交流センター講座 ノルディックウォーク 14 名参加。
- ・12 月度敷地茶話会 講話『いきいき生きる。消費者被害防止』 20 名参加。
- ・1 月度ウエルカフェ 『聞こえの相談会』 3 名参加。
- ・2 月度、民児協にて 包括支援センター講話 36 名

アウトカム コロナ後の活動等の不活発化は深刻な状況にあるため、支援の継続とシニアクラブを退会した地域や定期的な居場所や活動の場を持たない地域に、関係先と連携をして特に力を入れて働きかけをしたい。

活動目標②	「終活・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の周知啓発	7 月達成率	10 月達成率	年間達成率
		30 点	50 点	85 点

- アウトプット
- ・5 月度にウエルカフェにおいて、遺言の話をメインに司法書士のお話。13 名参加。
 - ・5 月度に交流センター講座(終活応援講座) 20 名の参加。
 - ・6 月度に出前講座、日赤奉仕団 15 名参加。
 - ・8 月度は事業所連絡会において「あんしんノート」の活用が取り上げられた。
 - ・8 月ウエルカフェ『年金のお話』
 - ・12 月ウエルカフェ 『高齢者の住まいと生活』 5 名参加。
 - ・2 月ウエルカフェ 『相続登記の義務化。遺言』 7 名参加。

アウトカム 人生会議については、啓発活動において底上げを図りつつ継続していくことが必要と考える。医療・介護の問題と関連付けながら、地域住民の方に意識を持っていただけるようにしていく。

活動目標③	認知症フォーラム、認知症フェア、認知症の人の交流会 の実施、フレイル予防の周知啓発	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		40 点	60 点	95 点

アウトプット

- ・4 月度に認知症予防のテーマでウェルカフェ 6 名参加。
- ・5 月度に GH 竜洋の家 地域推進会議参加。
- ・6 月度に認知症予防に効果的なツボのテーマでウェルカフェ 15 名参加。
- ・6 月度に認知症予防・消費者被害防止のテーマで 22 名参加。
- ・6 月度に認知症予防のテーマでふれあいカフェ 6 名参加。
- ・6 月度に白寿園にて認知症サポーター養成講座
- ・7 月度に香寿 GH・DS 合同 地域推進会議参加。
- ・9 月度に交流センターで認知症講座を開催。16 名+2 名参加。
- ・9 月度にウェルカフェにて骨粗鬆症予防・ウェルシア栄養士のお話
- ・9/12 推進会議、9/14 市役所本庁舎展示ブースでアルツハイマー月間啓発。
- ・10 月 竜洋東小 認知症サポーター養成講座 小 4 34 名参加。
- ・11 月 介護者のつどい 7 名参加。
- ・11 月 竜洋西小 認知症サポーター養成講座 小 4 79 名参加。
- ・11 月 ケアメン講座 7 名参加。
- ・11 月 竜洋地区福祉委員会『認知症について多世代で考えよう』約 80 名参加。
- ・12 月 竜洋シニアクラブ会長会 講話『認知症の方と共に生きる。消費者被害防止』22 名参加。
- ・1 月 磐田ケアマネ 後見支援制度 研修講師
- ・2 月 介護者のつどい 5 名参加
- ・3 月 金洗栄寿クラブ『認知症の予防と共生、消費者被害防止』25 名参加
- ・3 月 白羽シニアクラブ白寿会『認知症の予防と共生、消費者被害防止』30 名参加
- ・3 月 掛塚本町シニアクラブ 『認知症の予防と共生、消費者被害防止』20 名参加
- ・3 月 竜洋北小 認知症サポーター養成講座 小 4 42 名参加。

アウトカム 初めて東西北小学校での認知症サポーター養成講座の開催などを含め積極的な啓発等活動が行えている。特に、認知症の予防と共生について、地域の理解が深まるようにしたい。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

- ・コロナワクチンの予約などを支援。利用者ではコロナ感染の確認された方が散見される。
- ・法人の感染対策委員会に出席し情報共有を行っている。

- ・8～9 月度には職員を対象に4回目のコロナワクチンの接種。
- ・介護保険事業所等での感染状況について、関係機関や生活応援クラブなど地域の団体へ情報提供。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

該当なし。今年度から実地指導の名称が運営指導と改称され、マニュアルも変更された。

6 令和4年度 事業報告 白寿園短期入所生活介護

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

利用者の動向については、前年同期と比較して625名減少してしまった。

令和5年3月末時点での施設入所された方は21件、死去によるサービス終結が10件でした。

減少の要因としては、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターを2度発生させてしまい、受入を制限したことで稼働率に大きく影響がでてしまった。新規のご利用の相談は、128件ありました、内62件はご利用され、66件はご家族の都合や医療機関先での状態変化により退院ができない等の理由でサービスに結びつきませんでした。今後もご利用の相談には迅速な対応を行い、新規利用者の確保に努めます。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	419	361	303	420	408	400	408	448	498	283	240	395	4583
R3年度	378	355	377	462	485	385	411	467	491	464	455	478	5208
R2年度	433	472	475	478	467	418	448	386	424	385	378	390	5154

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

今年度の事業コンセプトは、「心に届く」「心に残る」温かいケアとしました。ご利用者様の要望・思いを尊重し、ご家族様の身体的・精神的な負担を軽減して在宅生活の継続を支える事ができるように援助します。

活動目標①	専門職による適切なケアの実施	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	80点	85点

アウトプット ・面接時には、自宅での様子だけでなく、ご利用者・ご家族の要望を伺い、面接表へ記載。在宅での生活が継続できるよう、個々の心身の状態に合わせた短期入所介護計画の作成を心がけた。また、備考欄を活用し、ご利用者やご家族の意向、受診状況、新型コロナウイルスのワクチン接種状況などの情報を記載した。

・利用中の様子は書面だけでなく、送迎時にご家族へお伝えしコミュニケーションを図った。1年通通じ、昨年度と比べ、ご家族から相談や自宅での困り事を話して下さるケースが増えた。

・令和5年3月までに「緊急短期入所受入」相談件数25件、内13件が緊急利用を実施した。昨年度は、相談件数が18件、緊急利用が16件だった。受入れ時には、可能な限り情報の収集を行い、個人記録へ状態の入力や、新規ご利用者は、面接表を作成

し、受け入れ後のスムーズな服薬管理・配薬・食事の提供を行った。受入れ後の様子を介護記録へ細かく記載する事で、職員がご利用者の心身の状態を把握することが出来た。事故の発生なく緊急利用後も在宅での生活を継続された。

・ご利用中体調の変化や様子に変化があった際には些細な事でもご家族にお伝えした。事業所評価アンケート自由記述には、「些細な事でも知らせていただき安心しています。」というお言葉をいただいた。

アウトカム ・事業所評価アンケートにおいて、全体の満足度についての回答項目で、97%の方々に満足している又はやや満足しているという評価をいただくことができた。

活動目標②	介護職員の資質向上	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70 点	80 点	85 点

アウトプット ・毎月のケア会議では課題を取り上げ、サービスの留意点を確認した。ケア会議を待たず修正が必要な際は、随時主任・副主任を交え相談し、変更が必要な場合には申し送りノートを活用し統一した援助を実施。

・ケア会議への参加率は、95.5%でした。ケア会議にて日々ご利用者から聞かれる訴えや個々の身体状況に合わせた援助方法について話し合いができた。

・接遇に関して、ご利用者よりご意見を頂いた。不安な気持ちにさせないような援助を心がけるように指導を行った。

・各委員会への参加を行い、委員会の内容や指針が配布された際には、申し送りノートを活用し伝達や、ケア会議内で指針の内容を確認した。

・感染症対策に努めていたが、5月にコロナ感染症クラスターが発生した。感染症対策について今一度考え、職員一人ひとりがより一層感染防止に努めている。また、クラスター発生時の対応を踏まえ、事業継続計画（BCP）の内容の見直しをおこなった。

・9月の職員会議には代表職員が参加し、事故防止、高齢者虐待防止、認知症高齢者の支援について研修を受け、他の職員へ伝達した。

・8月に各自で虐待チェックシートを行い、その後主任・虐待防止委員が確認を行った。虐待を疑うようなケースは無かったが、スピーチロックに関しては有りにチェックを付けているものが数名いた。言葉遣いについても、受け取る側によって取り方が変わる事を職員に指導した。また、各自の認識を知る良いきっかけになった。

・12月27日、新館で再びに新型コロナ陽性者が発生。その後、クラスターとなってしまいました。

アウトカム ・クラスターを体験したことによって、全職員がスタンダードプリコーションの重要性を理解し、行うようになった。

・持ち込まない、拡げない、持ち出さない、の感染対策を再度徹底した。

活動目標③	チームケアの充実	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70 点	80 点	85 点

アウトプット

- ・退所連絡表や共通ノートの活用や定期的にケアマネージャーへ状態の報告を行った。
- ・送りノートを電子化に変更し、手書きの時よりも活用している事が多くなった。また、確認後のチェック欄をつくり、確認した人がわかるようにした。昨年度より統一した援助ができるようになった。
- ・長期ご利用者の往診時や定期受診時には、個々の状態を医師へ伝えられるよう書面をお渡しした。本人にあった薬が処方され、定期的な排便コントロールができた。前回、記録の漏れや必要な情報が伝達されず、医師へ報告や相談できなかったケースもあったが、その後定期的に記録を確認したり、往診用のフォルダーを作成し記録をひとまとめにすることで、確実に本人の情報を医師へ伝えられるようになった。
- ・定期的に記録の確認や会議内で話し合いをしているが、実際に記録をみてご家族等がショートご利用中の様子をイメージできるものになっているか、その指導を継続している。
- ・看護職との連携を確実に行為、テラステーションを活用し伝達できるものを検討している。医療面での専門的知識・介護面での専門的知識でより良い援助が出来るよう工夫していきたい。

▶テラステーションを活用し情報共有できるフォルダーを作成した。

アウトカム

- ・共有ツールを作成したことにより、介護職と看護職の連携の強化につながり、ご利用者の状況や対応について以前より情報の共有が図れた。また、文章で分かりにくいことは動画や写真を入れることにより、より分かりやすく伝達し相談や対応を行うことができた。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

5月3日にご利用者数名に熱発症状が確認され抗原検査を実施した結果、3名の方が陽性と確認されました。そのため、5月4日から31日まで受け入れを中止としました。職員6名中、4名、利用者12名中、10名にコロナ感染が確認されました。感染拡大防止の対応として、ゾーニングを開始しました(ゾーニングは、終息宣言発出まで継続しました)。

クラスター発生時には、5月5日にDMAT(災害派遣医療チーム)、6日、9日、12日には磐田市立総合病院感染対策室の感染管理認定看護師さんとDMATの方が訪問していただき、専門的見地からの指導をいただきました。そして、嘱託医師である山崎先生、大津先生、静岡県介護指導課、静岡県西部保健所、磐田市高齢者支援課、磐田市健康増進課との連携を図り対応を強化しました。クラスター発生中、ご家族より自宅へ帰したいとの意向があり、磐田市立総合病院感染対策室の感染管理認定看護師さんから専門的ご意見をお聞きし法人本部へ確認しながら2名の方が退所されました。

ゾーニング期間中に1名の方が急変され、救急搬送を行いました。誤嚥性肺炎のため入院となり、加療後、7月より利用再開となりました。6月は利用を控えた方もいましたが、現在はコロナ前と変わらずご利用いただいています。今後も安心してご利用していただくために、今回学んだことを生か

し、より一層感染症対策を徹底していきます。また今回のクラスター発生時の対応を踏まえ、事業継続計画(BCP)の内容の見直しを行いました。

9 月には、感染症業務継続計画(BCP)に基づくシミュレーション訓練を実施しました。

12 月 27 日に新型コロナ陽性者が発生。その後、クラスターとなってしまいました。令和 5 年 2 月 15 日に終息・隔離解除することができました。この経験から、ご利用前のご家族様並びご利用者の体調確認及び体調変化に細心の注意をはらい、新規ご利用者や風邪症状と思われる場合には抗原検査を実施して陰性確認後に乗車していただくようにした。

4 令和 4 年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

該当なし。

7 令和4年度 事業報告 デイサービスセンター白寿園

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

7月と12月に利用者、職員に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しました。7月は、2日間の休業をしたことと、再開後も利用控えがあったことがありましたが、終結や入院する方が少なく、前年度と比べると105人の増加となりました。ただ、8割以上の利用者が白寿会のケアマネジャー担当となっています。白寿会以外のケアマネジャー担当の利用者の増加に努めることが課題とし残りました。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	858	903	932	806	885	896	889	875	822	804	861	930	10,461
R3年度	881	890	879	894	881	879	877	866	855	798	790	866	10,356
R2年度	791	781	743	810	814	860	885	786	869	769	832	974	9,914

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

当事業所の今年度の事業コンセプトは、『今日も行こうよ デイサービス』です。デイサービスのニーズが多角化しています。身体機能の衰え、認知機能の衰え、核世帯・独居等様々な心配を抱えながらも、デイサービスに行くことで心も体も元気に生活を送っていただきたいと考え設定したコンセプトです。事業コンセプトを達成するために当事業所では、以下①、②、③の短期目標を設定し進捗管理を行いました。

コンセプト	今日も行こうよ デイサービス
-------	----------------

活動目標①	その人らしさの尊重	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	70点	85点

アウトプット ・更新や新規、状態変化時など、毎月の会議の中でご利用者様の状況把握を行い、通所介護計画書に反映している。

・余暇時間に脳トレプリントを配布している。それ以外にも将棋やペットボトルキャップのパズル、裁縫など、その人に合わせて提供しているものもある。

アウトカム ・事業所評価アンケートによると、通所介護計画書は意向に沿った内容となっているか、に対しては92.2%の方が適切と回答。また、通所介護独自の目標を継続して位置づけている。

・計画については目標期間終了時の他に、3ヶ月ごとに評価している。

活動目標②	介護サービスの質の向上	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70 点	80 点	90 点

アウトプット ・研修センターが実施する内部研修に主に代表者がリモートを含め参加、その後の事業所内会議で内容を周知している。

- ・認知症についての内部研修を行った。
- ・法人内で開催されている感染症対策委員会、虐待防止検討委員会に参加した。
- ・研修センターで行われているケアマネ・相談員研修に参加、“感染症 BCP”の策定の研修を受けた。

アウトカム ・8月、2月の事業所会議内で感染症について、10月に虐待防止についての研修を行った。

- ・5月、10月、3月の事業所会議内で認知症について研修を行った。認知症加算算定者に MMSE 検査を実施、現在の状況を評価した。

活動目標③	安心・安全に過ごすために	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70 点	80 点	85 点

アウトプット ・新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画小分け版を7月に見直した。

- ・7月にクラスター発生、感染対策を強化した。
- ・クラスター発生を受けて新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画小分け版を8月に見直した。
- ・8月の内部研修にて消毒方法を取り上げ、職員の共通認識を図った。
- ・9月には、感染症業務継続計画（BCP）に基づくシミュレーション訓練を実施した。

アウトカム ・12月に職員、利用者に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生したが、感染拡大防止に努め、休業せずに営業を行った。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

7月21日に利用者2名が医療機関において新型コロナウイルス感染症の検査を受け、陽性と判定されました。2名は月・火・水曜日を利用されている為、接触のあった方と職員全員に対し、抗原検査を実施していくこととしましたが、21日中に検査を行っていない人もいたため、7月22日は臨時休業としました。接触のあった29名と職員22名の抗原検査の結果、新たに1名に感染の疑いがありました。その方と接触のあった8名の方について抗原検査を行った結果、新たに2名の感染が確認され、7月23日も臨時休業し、月曜日から水曜日までの上記検査対象外の方の抗原検査をすることとなりました。また、23日に職員の陽性の報告があり、木曜日に出勤していたため、木曜日のみ利用の方と、一度検査を行って陰性が確認されている方、木曜日に出勤していた職員についても再度抗原検査を行い、全員の陰性が確認され

たため、7月25日から通常業務を再開しましたが、利用控えをする方もありました。再開後は、手指消毒やテーブル消毒の回数の増加、床消毒の追加等感染対策を強化しました。

9月には、感染症業務継続計画（BCP）に基づくシミュレーション訓練を実施しました。

12月19日に職員1名が定期抗原検査で陽性となりました。17日に接触し、19日利用の9名の方に抗原検査をしたところ、全員の陰性を確認しましたが、その後腰痛や嘔吐、発熱等で受診され、陽性となった利用者や、定期の抗原検査で陽性となった職員が合わせて12名（職員3名、利用者9名）いました。12月の時には感染対策を継続し、休業せずに営業をしました。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

該当なし。

今年度から実地指導の名称が運営指導と改称され、マニュアルも変更された。

8 令和4年度 事業報告 白寿園研修センター

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

●表 01 (1)内部研修 01／新人教育研修…令和4年度内部研修の開催状況

No.	日	時	テ	ー	マ
①	令和4年4月6日	水曜日	記念写真／社会福祉法人白寿会について ①施設部門（白寿・第二白寿・ケア・SS・保） ②在宅部門（居宅・包括・デイ・HH）職業倫理と接遇		
②	令和4年4月7日	木曜日	コミュニケーション技術 リスクマネジメント <u>身体拘束の廃止／高齢者虐待の防止</u> 白寿会見学ツアー		
③	令和4年4月14日	木曜日	感染症対策について 医務室から（バイタルチェック等） 交通安全について		
④	令和4年4月21日	木曜日	介護技術研修Ⅰ 介護技術研修Ⅱ		
⑤	令和4年4月22日	金曜日	介護技術研修Ⅲ 介護技術研修Ⅳ		
⑥	令和4年4月27日	水曜日	白寿会の各種規定について 個人情報の取り扱い／記録の作成 ターミナルケア／介護保険制度の概要		
⑦	令和4年6月15日	水曜日	認知症サポーター養成研修		
⑧	令和4年10月26日	水曜日	白寿会防災について／フォローアップ研修		

新人研修参加対象者：12名 参加者延べ：69.5名 平均出席率 86.9%

●表 02 (1)内部研修 02／幹部職員研修…令和4年度内部研修の開催状況

No.	日	時	テ	ー	マ	備	考
①	令和4年8月26日	16:30～	・コロナと守秘義務 ・よくわかる指導方針			研修センター	
②	令和4年9月22日	16:30～	・自然災害のBCP			研修センター	

幹部職員研修参加者延べ：47名

●表 03 (1)内部研修 03／職員全体研修…令和 4 年度内部研修の開催状況

No.	日 時	テ — マ	備 考
①	令和 4 年 05 月 25 日(水) 17:30～ ※報告書回覧のみ	令和 4 年度事業計画 法令遵守・守秘義務	研修センター
②	令和 4 年 07 月 27 日(水) 17:30～	※感染防止の為に中止	研修センター
③	令和 4 年 09 月 28 日(水)17:30～	介護・看護事故の防止 高齢者虐待の防止 認知症高齢者の支援	研修センター
④	令和 4 年 11 月 30 日(水)17:30～	褥瘡・皮膚ケア 交通安全について	研修センター
⑤	令和 5 年 1 月 25 日(水)17:30～	事故防止について 感染症について 医療的ケアについて	研修センター
⑥	令和 5 年 3 月 29 日(水)17:30～	中止	研修センター

職員全体研修参加者延べ：80 名

●表 04 (2)資格取得研修 01／介護支援専門員試験合格講座・・・令和 4 年度の開催状況

No.	日時	講義名
①	07 月 10 日(日)10:00～16:00	解説-支援分野 01 (リモート+Youtube)
②	07 月 24 日(日)10:00～16:00	解説-支援分野 02 (リモート+Youtube)
③	07 月 31 日(日)10:00～16:00	解説-医療分野 (リモート+Youtube)
④	08 月 14 日(日)10:00～16:00	解説-福祉分野 (リモート+Youtube)
⑤	08 月 28 日(日)10:00～16:00	R3 年度過去問を解く (リモート+Youtube)
⑥	09 月 04 日(日)10:00～16:00	総合模試-中間試験 (リモート+Youtube)
⑦	09 月 18 日(日)10:00～16:00	総合模試-期末試験 (リモート+Youtube)
⑧	10 月 02 日(日)10:00～16:00	総合模試-卒業試験(リモート+Youtube)

試験合格講座 申込者：18 名 参加者延べ：81 名 平均出席率 57.4%

●表 04 (2)資格取得研修 01-02／介護支援専門員試験合格講座「夜学」・・・令和 4 年度の開催状況

No.	日時	講義名
①	9月19日(月)～9月24日(土)	中間試験パートⅡ (youtube オンライン模試)
②	9月26日(月)～10月1日(土)	2021 リバーシアレンジ (youtube オンライン模試)
③	10月3日(月)～10月8日(土)	卒業試験パートⅡ (youtube オンライン模試)

試験合格講座「夜学」 申込者：11名

●表 05 (3)社会貢献研修 01／介護支援専門員・生活相談員研修・・・令和4年度の開催状況

No.	日程	講義内容
①	令和4年04月22日(木) 9:00～12:10 13:30～16:40	居宅介護支援事業所における感染症に関する業務継続計画(BCP)の策定(リモート)
	令和4年06月 日(水) 9:00～12:10 13:30～16:40	中止
②	令和4年08月16日(火) 9:00～12:10 13:30～16:40	運営指導マニュアルの改正／2022 介護報酬(リモート)
③	令和4年10月19日(水) 9:00～12:10 13:30～16:40	災害に関する業務継続計画(BCP)の策定(リモート)
④	令和4年12月21日(水) 9:00～12:10 13:30～16:40	適切なケアマネジメント手法(リモート)
⑤	令和5年2月15日(水) 9:00～12:10 13:30～16:40	中止

介護支援専門員・生活相談員研修 参加者延べ：812名

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

事業コンセプトは今年度も『身に付け実を結ぶ』です。事業コンセプトの実現に向けて、広報活動に力を入れ受講生の募集に努め、より多くの方に介護の知識や資格を身に付けてもらい「介護職員の無資格者ゼロ」に向け、また、「介護の質の向上が福祉サービスの質の向上につながる」よう取り組んでいます。

コンセプト	「身につけ、実を結ぶ。」
-------	--------------

活動目標①	福祉人材の育成・供給	8月達成率	10月達成率	年間達成率
		85点	90点	95点

アウトプット ・新人職員に対して4月から「新人職員研修」を行っている。当法人の沿革や介護保険制度、介護技術の研修などを実施している。今年度も、竜洋地域包括に講師を依頼し、研修内に「認知症サポーター養成講座」を取り入れた。

・介護支援専門員試験合格講座は、今年も参集型は止め、リモートで行った。長時間のリモートでも集中してもらえるように、工夫した。後日、Youtubeでも視聴できるように配信を行った。

・介護支援専門員試験合格講座に引き続き、「夜学」も youtube 配信で開催し、総再生回数は、234 回閲覧されている。研修のテキストは、ホームページからダウンロードしてもらう形を取り、完全リモートで開催している。

- アウトカム
- ・新人研修内の認知症サポーター養成講座を 8 名が受講し修了した。サポーター養成に貢献できた。
 - ・介護支援専門員試験は、今年も合格者を輩出した。
 - ・2024 年から、介護職員の無資格者には、「認知症介護基礎研修」の受講が義務付けられることとなり、研修センターで受講の手伝いを行い、2 名修了した。

活動目標②	コンプライアンスの徹底	8 月達成率	10 月達成率	年間達成率
		90 点	95 点	98 点

アウトプット

- ・「よくわかる指導方針」を作成し、各主任、ケアマネジャーに配布し周知した。

- ・職員会議で守秘義務規程について取り上げた。
- ・職員会議にて、介護サービス情報公表制度に取り上げられている研修を行った。

アウトカム

- ・組織運営の知識の習得、介護保険制度の最新情報を把握し、法人運営に貢献した。

活動目標③	福祉人材のすそ野を広げる	8 月達成率	10 月達成率	年間達成率
		90 点	90 点	95 点

アウトプット

- ・介護支援専門員／生活相談員研修を、リモートで開催。

アウトカム

- ・近隣の介護支援専門員や生活相談員向けの研修を行い、交流の場も提供でき、好評を得た。地域貢献にもつながり、白寿会の広告塔にもなった。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

参加人数が少ないものに限って、マスクや手指消毒を徹底し開催をした。他は、参加者を代表者 1 名のみに制限して開催し、全職員への周知は、報告書を使って行った。

外部施設から参加がある研修については、中止または、リモートで行った。

職員が集合する研修会場は、机の間隔をあけ消毒・換気を行った。

9 令和4年度 事業報告 白寿園ケアハウス

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

入所者の動向については、令和4年度の退所者数は2名、入所者数が2名です。入居者の平均年齢は84歳、平均介護度は1.14です。退所から入所までの日数は116日です。稼働率は97.9%、前年度の96.4%と比較すると上昇となりました。

要因としては、令和4年度は待機者へのアプローチ不足で、次の方が入所するまでに若干日数が掛かってしまいました。しかし、退去される方が去年に比べて少なかったためと考えます。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	450	465	435	442	465	450	465	450	435	443	394	465	5,359
R3年度	441	432	394	463	465	450	465	432	444	418	380	465	5,249
R2年度	438	465	450	465	465	450	465	450	465	465	420	465	5,463

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

コンセプト	一人ひとりの“人生計画”を話し合う。
-------	--------------------

今年度は昨年度同様、ケアハウス入居者の皆様が生活の継続を目標としつつ、併せて、医療や介護を要する状態となった時に備え、ACPの考えを踏まえ、「人生計画（life plan）」を本人・保証人と話し合い明確な意思表示を確認するようにしました。その上で、現在の生活能力の維持と施設における生活の継続を目指ようにしました。この事業コンセプトを達成するために、以下①～④の活動目標を設定し進捗を管理しました。

活動目標①	「人生計画（life plan）」を話し合う	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		60点	70点	75点

アウトプット ・今年度は、自立した生活をしていた利用者が急な体調不良で退居に至ったため、医療・介護を要する状態となった時に備え、ACPの考えを踏まえ、人生計画を本人・保証人と話し合うための模式を整備することを今年度の計画に位置づけた。

- ・当該様式に基づき、アンケートを本人、保証人、任意後見人に実施した。
- ・コロナ禍であったが、個人面談の調整を必要最低限行った。

アウトカム ・コロナ禍で、個人面談を必然的に控える結果となってしまったが、面談では、ご入所者、保証人様、任意後見人様が考えられていること、思っていること等を確認することができた。

- ・アンケートでは、大変満足している、又は満足しているという評価をいただいた。

活動目標②	心の健康・体力づくりの実施	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		60点	70点	80点

アウトプット ・さつき会さんによる“介護予防体操教室”などボランティアの受入れが新型コロナウイルス感染症の影響によりできなかった。

▶年度の途中からでは、運営懇談会時に、頭の体操と称して簡単な脳トレを添付し皆で行った。

アウトカム ・コロナ禍で、ご入居者の健康維持・増進のため短い時間ではあったが、昼食前のラジオ体操や口腔体操を毎日行うようにした。

・運営懇談会は、施設からの伝達事項だけになってしまいがちであったが、少しでもご入居者間の交流手段の一つとなればと思い、脳トレのプリント等の配布を続けて行った。

活動目標③	保証人・関係機関との連携	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	90点

アウトプット ・加齢や疾病に伴い、生活機能が低下したご入居者には、保証人や介護支援専門員、地域包括支援センター職員、医療機関、介護保険のサービス提供事業者と連携のもと、当アハウスでの生活を継続するために必要な医療・サービスを利用できるよう支援している。

・身体的な衰えばかりではなく、ご入居者一人一人の普段のご様子や雑談の中での心配事をご家族と共有し、その対応に努めた。

アウトカム ・居室内で転倒したご入居者に対し、保証人様他、各介護サービス提供者とケアハウス職員が連携を図り、退去後の生活のご支援をすることができた。

・コロナ禍で面会のできない状況が続いたが、ご入居者の些細な変化でも常にご家族等に報告するよう心掛けて努めた。

活動目標④	入居の確保／職員の資質の向上	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		50点	70点	80点

アウトプット ・対外研修がコロナ禍で難しいが、白寿会で職員の資質向上を図るための基礎的な研修を職員会議、管理運営会議、各委員会で開催していた。各会議の出席者がケアハウス内あるいはケアハウス会議において、他の職員へ伝達講習をしている。

・研修センターで行われているケアマネ・相談員研修に参加した。

アウトカム ・ケアマネ／相談員研修にて、感染症や防災のPCPの策定の研修を受けたことで、ケアハウスのBCP作成に役立てた。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

新型コロナウイルス感染症については、現在まで利用者、家族及び事業所職員において感染の事例はありません。ケアハウスでは、利用者は令和4年12月14日に5回目のワクチン接種

を 11 名完了し、11 月 18 日に山崎医院にて 1 名がワクチン接種。もう 1 名は、抗がん剤治療中のため医師の指示にて中止。新しくケアハウスへ入居された 2 名の方は、ケアハウス入居前に集団接種会場にて接種しており、14 名が完了しています。職員に関しても、12 月 14 日と 21 日に 5 回目のコロナワクチンの接種をしました。

令和 3 年度の基準省令（静岡県条例）の改正により追加された「感染対策委員会」については、法人内の委員会の運営を強化し、月例の開催を確保しています。また、指針についても同委員会を中心に整備しました。基準省令で定める研修についても法人内、部署内でそれぞれ開催しています。

また、ケアハウスの感染症 BCP が作成しています。

4 令和 4 年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

◆令和 4 年度施設指導監査 令和 4 年 12 月 2 日

【指摘事項】 改善指導事項・助言指導事項なし。

【口語指摘】

- ① 事故報告の件数が相違していた。監査資料に 2 件と記入していたが、県への報告は 3 件だった。記入ミスだった。
- ② 苦情解決マニュアルがなかったため、作成するように、とのこと。
- ③ 福祉サービス第三者評価事業を費用がかかっても受審した方が良いのでとお話があった。

10 令和4年度 事業報告 特別養護老人ホーム第二白寿園

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

入所者の動向については、令和4年度における退所者数は11名、入所者数が12名です。令和5年3月末の入所者平均年齢は88.2歳、平均介護度は4.0です。稼働率は99.43%、前年度平均と比較すると0.8%の上昇となりました。退所から入所までの日数は5.5日です。

要因としては、前年度と比較すると退所者数の減少（3名）、退所から入所までの空床期間の短縮（平均0.4日の短縮）、入院による空床の減少（98日間の減）により前年度を超える実績をあげることができました。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	1192	1233	1196	1236	1240	1186	1222	1192	1237	1232	1113	1238	14517
R3年度	1196	1218	1174	1240	1215	1199	1235	1186	1199	1189	1117	1233	14401
R2年度	1188	1200	1167	1200	1227	1163	1189	1150	1231	1233	1113	1207	14268

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

当事業所の今年度の事業コンセプトは、“その人らしい生活を援助し、ここで良かったと思える居場所をつくる。”です。ユニットケア推進委員会を中心に『ご入居者目線の暮らし』の実現を推進していきます。ハード、ソフト、システム、フォームの4つの観点から評価するため定期的なユニットリーダーによるユニットのラウンド、ご入居者への聞き取り調査を行い、評価していきます。評価結果を各ユニット共、改善に繋げることでご入居者の目線に立った個別ケアの実践を目指していきます。

令和4年度 奏ユニット活動コンセプト

コンセプト	心地よい暮らしをかなでよう			
	奏ユニットでは、「心地よい暮らしをかなでよう」をテーマに2本の柱を立て、“当たり前の生活”の提供を行っていきます。			
活動目標①	清潔感のある住宅	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		80点	85点	90点

- アウトプット
- ・職員の記録スペースに掃除チェック表の掲示をした。
 - ・掃除機掛け、モップ掛けは、週に4日出来ていないが、毎日ほうきでリビングの清掃を実施できた。
 - ・トイレ掃除、キッチン掃除、居室洗面台掃除、居室・リビングの換気は毎日できた。
 - ・月に1度、掃除の日を勤務で組み、車椅子、机、椅子の清掃を実施した。

- ・計画通りに各箇所の掃除を行えている。
- ・掃除チェック表は、感染委員が月末にチェックをした。

アウトカム ・計画通りに各箇所の掃除が行え、環境整備に対する意識が高まった。

活動目標②	家での行事、家から外へ	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		75 点	80 点	85 点

- アウトプット
- ・4、5月は計画通り、桜鑑賞、ボーリング大会を開催した。
 - ・6、7月の遠足、納涼祭は、新型コロナウイルスの影響で中止したが、ユニット内で七夕飾り作り、ボッチャを行った。
 - ・8月はボール投げを実施。9月は敬老会に全員が参加をすることができた。
 - ・10月の法多山へのドライブは中止し、掛塚屋台の見学に参加した。
 - ・11月は欠員のため、紅葉ドライブは中止となり、小規模で体操のレクを行った。
 - ・12月はクリスマス会を開催した。
 - ・1月は欠員のため、正月遊びを中止し、玉入れを行った。

アウトカム ・計画通りに進むことばかりではなかったが、定期的にご入居者とともに楽しい時間を過ごすことができ、日常の中で行事を計画し実施することの大切さを痛感した。

令和4年度 縁ユニット活動コンセプト

コンセプト	一人一人の縁を大切にし、ここに居たいと思える笑顔溢れる一家団欒の場作り ここで出会ったご縁を大切にたくさんの笑顔を引き出せるよう入居者様の生活に寄り添っていきます。
-------	---

活動目標①	自分らしさを諦めない	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		60 点	70 点	80 点

- アウトプット
- ・家に1度帰りたと言われていた方の希望を叶える為、ご家族と調整し、計画を立て15分程度だが家に一緒に行くことができた。
 - ・個々で体操を行いたいと言われた方に実行した。継続して時間がある時、調子の良い時には行えている。
 - ・結果としては叶えられなかったがご入居者の希望を叶える為に、法人内の専門職の協力を得て介助方法について検討を行った。
 - ・12月に看取りケアを行ない、その方の状態・性格等に沿ったケアが出来た。ご家族とも連携が取れた。

アウトカム ・個々の意向を確認することでその実現のため、ご家族や事業所内多職種、法人内多職種とも連携を取ることができ、ユニットだけではできないことも実現できた。そして、多職種連携の重要性が再認識できた。

活動目標②	残存機能を活かし、今出来る事の継続と出来ることを増やしていく為、レクリエーションの充実をしていきます	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		70点	80点	90点

アウトプット ・歩行状態が少しずつ悪くなっている方に対して、調子が良い時には歩行器を使用し歩く事を継続できるようにしている。

- ・1月以外継続して月1回のレクリエーション、週3回程の体操を行った。
- ・出来る事を増やす・継続して行っていただく為、介助用から自走式に車いすを変更したり、洗濯たたみ、食器を拭く等を行っていただいた。

アウトカム ・専門職がいなくても、残存機能を活かしたレクリエーション等を日課に取り入れることで、ADLの低下を防ぎ、意欲の向上に繋げることができた。

活動目標③	サービスの質の向上を目指します	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		60点	60点	80点

アウトプット ・5月にスピーチロックについてユニット内研修を行った。
・状態が変わった方の24時間シートの変更を行い、周知した。
・8月に虐待について、ユニット内研修を行った。2月には、新型コロナウイルス感染対策を行った反省会を行った。

アウトカム ・ユニット内の研修により、意識の向上が見られ声掛けの仕方も変わってきた。
・早期の対応の変更、それを情報共有することで、状態に合わせたケアができ個別ケアへの意識が高まった。

令和4年度 和ユニット活動コンセプト

コンセプト	和顔愛語
-------	------

和顔愛語とは・・・穏やかな顔つきで思いやりのある話し方で接すること。
和やかな笑顔と優しい言葉で接し、思いやりがにじむようなユニットにしたいと思います。

活動目標①	生活に彩を添える	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		70点	75点	80点

アウトプット ・5月の担当デイがコロナの影響で出来なかったが翌月には行えた。
・毎日ではないができる日は体操を行った。
・ユニットの模様替えを職員だけでなく、入居者様と行った。
・9月は敬老会に参加した。100歳以上の2名を祝う事が出来た。
・秋のレクリエーションとして運動会の計画を立てた。
・12月はクリスマス会を行った。
・2月14日に縁と合同で豆まきの計画を立てている。
・ここ数ヶ月、職員のコロナやクラスターで誕生日会等が出来なかったが2月に

誕生会を計画した。

- アウトカム
- ・季節を感じられる行事や模様替え、誕生会を行うことでご入居者同士の交流が行え、コミュニケーションの機会も増え、気持ちに張りも出て活気に繋がった。

活動目標②	安全、快適な生活のための環境づくり	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		60点	60点	85点

- アウトプット
- ・週2回の清掃は継続してできている。その場できれいにすることが出来ていないように感じた。(トイレの便汚れ、テーブル拭きなど)
 - ・会議内で話し合い大掃除を行った。(居室の窓ふき、エアコンのフィルター、ベランダ掃除、風呂場の側溝、テーブルの裏)
 - ・クラスター発生時は出来なかったが、それ以外は週2回の清掃は継続して行った。
- アウトカム
- ・清潔面、安全面での環境整備の意識が高まり習慣とすることができた。

活動目標③	サービスの質の向上	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		60点	65点	85点

- アウトプット
- ・ユニット内研修で「ユニットケアとは」を行ない、ユニットケアについて再認識した。
 - ・ユニット会議内で24Hシート、食事の検討、評価を行なった。
 - ・会議の話し合いをスムーズに行う為に事前に仮の会議録を作成し、ユニット内の問題点などを出し会議前に各職員が意見を考えるようにした。
 - ・8月にユニット内研修で「口腔ケアとは」を行った。
 - ・11月にユニット内研修で「事故予見訓練」を行った。
 - ・継続して24時間シート、食事の検討、評価、事前の会議録作成は行えた。
- アウトカム
- ・限られた会議の時間を有効に活用するための準備ができるようになった。
 - ・計画に対しての評価をすることで、PDCAを意識するようになり状態に合わせたケア内容の変更ができるようになった。

令和4年度 雅ユニット活動コンセプト

コンセプト	「日々の暮らしを大切にし、生活の中にくつろぎと・彩を」			
雅ユニットでは「日々の暮らしを大切にし、生活の中にくつろぎと・彩を」をテーマとし、以下の 3 本柱を中心に職員が一人一人考え相談し合い、安心して心地よい空間を提供できるように努めています。				
活動目標①	身近に季節を感じられるレクリエーションの充実	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		70点	75点	80点

- アウトプット
- ・毎月季節に合わせた塗り絵を行った。
 - ・月に1回体を使い点数を競うレクリエーションを実施した。

- ・5月、6月、8月はカルタ大会、ボーリング大会、花火大会を開催。7月はユニット内で七夕飾り作りを行った。9月は敬老会に全員が参加することが出来た。
- ・10月掛塚祭り DVD 鑑賞会、掛塚屋台見学に参加。
- ・11月はコロナの為紅葉ドライブを中止しレクリエーションと誕生会を開催。
- ・12月はクリスマス会を開催した。
- ・1月は欠員のため新年会を延期しカルタやクイズを行った。
- ・2月は新年会と節分を開催した。

アウトカム ・季節を感じていただいたり、行事をご入居者全員で行なうことで、ご入居者同士の関係が深まった。

活動目標②	一人一人が穏やかに暮らせる支援	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		65 点	65 点	85 点

- アウトプット
- ・10人中7名に食事の嗜好調査を行い4名の希望を叶える事が出来た。
 - ・常に説明を希望される1名に対し申し送りを使い多職種連携して統一した対応することが出来た。
 - ・排便の状況を医務と情報共有し対応する事が出来た。
 - ・入浴介助、排泄介助時などに困っている事などがないか確認を行った。

アウトカム ・ケアの統一の徹底、多職種との連携強化、職員同士が相談できる環境の構築ができた。

活動目標③	清潔感のある環境づくり	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		60 点	65 点	80 点

- アウトプット
- ・毎日換気、湿度、温度等の環境整備を行う事が出来た。
 - ・洗面台の掃除、掃除機掛けは毎日行う事は出来なかったが週に2日は実施できた。食堂の掃き掃除、トイレ掃除、キッチンの掃除は毎日出来た。
 - ・4月～7月には桜、紫陽花、向日葵など掲示物、花等を用いて季節を感じて頂くことが出来た。
 - ・大掃除を行った。(キッチン、リビング、作業スペース、エアコンのフィルター、テーブル裏、食堂の床、車椅子消毒)
 - ・お互いに声を掛け合い清掃、整理整頓、衣類棚の整理など行った。

アウトカム ・清掃を習慣化することにより、感染面、リスク面での環境整備へと意識が繋がった。

令和4年度 医務活動コンセプト

コンセプト	「暮らしを支える看護」
-------	-------------

ご入居者の健康管理について努めていきます。介護が必要となっても暮らしの継続ができるように支援し、人生最後までその人らしく生ききることを支えていきます。

活動目標①	健康管理	7月達成率	9月達成率	年間達成率
		80点	80点	85点

- アウトプット ・新型コロナウイルスが蔓延しているため面会制限をかけているが、看取り介護の際は、可能な限り直接面会ができる様対応した。
- ・ご入居者、職員の毎日の検温、日々の換気、湿度、温度等の環境整備を行った。
 - ・職員1名、ご入居者1名がコロナ陽性となったが、感染が広がることなく終息できた。
 - ・クラスター発生したが、BCPをもとに対応し、感染を最小限にできた。
- アウトカム ・新型コロナウイルスの対応、クラスターの経験を経て、反省をまとめBCPの変更、状況に応じた対応ができるようになった。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

- ・令和4年7月に3階職員1名がコロナ陽性となり該当フロアの入居者、関係する職員の抗原検査を実施。その日のうちに全員陰性を確認しました。その後、拡大防止のために3日間、居室対応等の感染対策を行い、2回目の抗原検査で入居者、職員とも陰性を確認し解除に至りました。
- ・職員の家族がコロナ陽性となり濃厚接触者として自宅待機後、抗原検査を実施し出勤。
- ・7月に4回目のワクチン接種（対象入居者）を行いました。
- ・8月に3階職員1名がコロナ罹患し該当フロアの入居者、職員の抗原検査を実施し、入居者1名の陽性が確認されました。その後、コロナ対応による感染拡大防止により感染が広がることなく終息を迎えることができました。
- ・11月に2階職員1名がコロナ罹患し、該当フロアでコロナ対応、他職員、入居者とも感染することなく終息を迎えました。
- ・11月に1階事務職員1名がコロナ罹患し、他の事務職員は3日間自宅待機し、感染することなく終息を迎えました。
- ・11月に2階職員家族がコロナ罹患し待機中に感染。その後、療養期間を経て出勤しました。
- ・12月に5回目のワクチン接種（対象入居者）を行いました。
- ・1月5日に2階職員1名がコロナ罹患し該当フロアでコロナ対応をしました、その後、感染が急速に広がり職員5名、入居者11名のクラスターとなってしまいました。ご家族にはご入居者の状況報告などは随時報告をさせて頂きました。磐田市立総合病院の感染認定看護師より、以前に指導を頂いたことや白寿園でのクラスター発生時の対応なども踏まえ、感染の拡大防止に努め、1月25日に終息、隔離解除することができました。この経験を踏まえ、感染拡大時の対応についての見直しを図っております。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

該当なし。

1 1 令和4年度事業報告 白寿園ホームヘルプサービス

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

実績は前年と比較して82時間の減少となりました。時間数減少の理由としては、①週数回利用の方が死去や施設入所により利用が終了となった。②新規の方の利用が週1回～2回と少なくなっている。などが考えられます。利用人数では、昨年同時期の平均利用人数が、1か月あたり72名に対し、今年度は79名と増加しています。しかし訪問回数が減少している為、時間数の減少となっています。ターミナルの方の依頼や外部のケアマネジャー様よりの依頼も増えています。新規の利用者様のお声をかけて頂いた場合は、すぐに対応できるようにしていきます。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	607	605	620	587	654	651	626	628	595	564	506	545	7,188
R3年度	577	625	605	654	649	643	590	628	609	564	524	602	7,270
R2年度	582	589	583	584	638	631	619	592	571	567	551	628	7,135

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

当事業所の今年度の事業コンセプトは、「ご利用者様の『できた』の喜びを大切に」です。ご利用者様のお宅に訪問を行い、入浴・排泄・食事の介助などの身体介護や、買い物・調理・洗濯・掃除・ゴミだし等の生活援助を行うなかで、ご利用者様の心身の状態に合わせた援助を行っています。ご利用者様が援助を受けて「気持ち良くなった・きれいになった・安心して生活を送れる」などの喜びの気持ちをもって頂けるよう援助を行っています。

コンセプト	「ご利用者様の『できた』の喜びを大切に」
-------	----------------------

活動目標①	ご利用者が在宅生活を継続できるように援助する	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	80点	85点

アウトプット ・ご利用者一人ひとりのニーズに合わせ、訪問介護計画等を作成し、計画に沿って、サービスの提供を行っている。
 ・ご利用者の生活の状況や、モニタリング結果を、毎月担当ケアマネジャーに報告している。また3カ月に1度、短期目標、ヘルパーの目標についての評価を行い、担当ケアマネジャーに報告している。

アウトカム ・ご利用者及びそのご家族のニーズに応じて訪問介護計画・介護予防訪問介護計画を作成し、計画に沿った援助を行っているが、事業所評価アンケートにおいて、意向に沿った（介護予防）訪問介護計画が作成されていますか、という項目につい

て 90%の方が適切であると回答をいただいた。

活動目標②	訪問介護員の資質の向上を図る	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	85点

- アウトプット
- ・毎月1回開催されるカンファレンスにおいて、研修を行い、資質の向上に努めている。
 - ・介護過程に基づく訪問介護の支援ができるように導入を行っている。
 - ・介護過程に基づく、フェースシート、アセスメント表の作成を行っている。

- アウトカム
- ・毎月1回開催されるカンファレンスには常勤・パート・登録ヘルパーが参加した。法令遵守・守秘義務に感染症の予防等の研修を行った。出席率は月平均70%であった。
 - ・「ほう・れん・そう」を大切にし、個人記録、申し送りノート等の活用を行った。サービスの向上と訪問介護員同士の意思の疎通を深めることができた。
 - ・介護過程に基づく、フェースシート、アセスメント表の作成を利用者全体の1割作成する事ができた。

活動目標③	チームとしての役割を担う為に多職種と連携を図る	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		80点	80点	85点

- アウトプット
- ・地域の中で訪問介護の役割を担っている。
 - ・サービス担当者会議や、退院カンファレンスに参加している。
 - ・地域ケア会議に参加している。

- アウトカム
- ・訪問の依頼があった場合は調整を行い、サービスにつなげていくようにしている。
- 訪問介護
- 介護は緊急で依頼がある場合もあった。
- ・令和4年度のサービス担当者会議は58件に参加した。サービス担当者会議では、家族や専門職より話を伺う事が出来た。「テレビ電話装置等」を使用しての会議が4件あった。照会は、77件あったため、文章で回答を行った。地域ケア会議へは、3件参加した。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

- ・6月度に法人内特養部門でのコロナ感染症のクラスターが発生したことにより、発生とその対応を踏まえた、業務継続計画（BCP）の見直しを行った。
- ・7月度に介護支援専門員と訪問介護員が受診対応した利用者が、コロナウイルスに感染していました。このことを踏まえて、感染者等との接触対応を見直し、また訪問介護計画記載等の修正についても行い、業務継続計画（BCP）の見直しを行った。

- ・7月度より、白寿園の在宅サービスを利用していない新規の利用者については、サービスの開始時に抗原定性検査を実施しています。また職員においても月に1回、抗原定性検査を実施した。12月からは週に2回の抗原検査を実施しました。
- ・9月度には、感染症業務継続計画（BCP）に基づくシミュレーション訓練を実施しました。そして、2月には居宅サービス利用者が発熱しているとの情報を受け、訪問時、防護具を着用し、健康チェックシートによる健康状態の確認、抗原検査を行い、車に戻って事業所に報告するまでの一連の対応を確認するというシミュレーション訓練を実施しました。
- ・法人の感染対策委員会に出席し情報共有を行った。
- ・8～9月度には職員を対象に4回目のコロナワクチンの接種。12月には、5回目のコロナワクチンの接種を行っています。
- ・11月から2月に掛けて、職員がそれぞれ1名ずつコロナに感染をしましたが、指針に沿って対応をし、事業所は休業せずに営業をしました。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

該当なし。

1 2 令和4年度 事業報告 なないろ保育園

1 令和4年度 事業計画の進捗状況

過去3年間の実績（利用者人数）の推移は以下の通りです。

昨年度と比較して園児は24名の減少（4月期から3月期）となりました。職員配置は、保育士5人の体制です。

■ 表 過去3か年の実績の推移

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	4	4	4	5	6	6	6	6	7	6	5	6	65
R3年度	6	7	7	7	7	6	6	7	9	9	9	9	89
R2年度	3	5	7	7	9	8	10	10	10	9	9	9	96

2 事業コンセプトの実現に向けた取り組み

当事業所の今年度の事業コンセプトは、“地域に愛される保育園として、地域の皆様と一緒に、なないろ保育園を育てていければと思います。そんな思いで、日々業務を行っています。事業コンセプトを達成するために当保育園では、以下①、②、③の短期目標を設定し進捗管理を行いました。

コンセプト	地域に愛される保育園
-------	------------

活動目標①	安全で活動しやすい環境を整える	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	90点

アウトプット ・雨の音、風に揺れる木々の音や動き、虫の声など自然現象を始めとして感覚を刺激する様々なものや事象に関われるよう働きかけた。

・事前に散歩コースを歩き、危険個所や安全な場所などを確認した。

▶お散歩マップに書き込むことで全職員に周知した。

・水遊び、プール遊びでは、必ず監視員をつけた。また、保護者にプールカードを記入していただき、園児の健康状態を把握したうえで行った。

・こども一人ひとりの発達にあわせ、怪我のないよう安全面に配慮した遊具（平均台、トンネル、ジャンプ台など）を作った。

アウトカム ・安心、安全な環境の中で伸び伸びと探索活動を行い、友だちや保育士との遊びを通して園児たちは、自分の思いを言葉や仕草で伝えることができるようになった。

活動目標②	地域の行事・文化に触れた活動の推進	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	90点

アウトプット ・「こどもの日」「七夕」などの絵本や歌を取り入れ行事を行うことで、子どもが季節の変化を感じることができるよう働きかけた。

・屋台を見たり、お囃子に合わせて踊ったりして、地域のお祭りに触れた。

・子どもたちの成長を白寿園のご入所者に見ていただくため、「卒園式」を行った。

アウトカム ・友だちや保育士と一緒に季節や行事に触れることで、その雰囲気を楽しめた。

活動目標③	保育の資質向上のための研修への積極的参加	7月達成率	10月達成率	年間達成率
		70点	80点	90点

アウトプット ・保育現場で求められる知識や技能をより深め、更に専門性を高めていくために、毎月1回園内研修を行った。

・新型コロナや嘔吐下痢などの感染症に関して、具体的な実践例を挙げながら、対応について話し合った。

・「虐待」に関する研修の振り返りを行うことによって保育に必要な知識を身につけることができた。

アウトカム ・子どもの人権に対する配慮などを学び、言葉掛けや接し方などに留意しながら関わることで、子どもたちが安心して保育園生活を楽しく過ごすことができた。

3 新型コロナウイルス感染症関係の対応等

職員は、令和4年12月末迄に5回目のワクチン接種を完了しています。

12月1日に1名の園児が、新型コロナウイルスに感染しました。その後、計4名の園児が新型コロナウイルス感染症に罹患、または濃厚接触者となり、登園停止になってしまいました。事業所職員の感染はありませんでした。

4 令和4年度 実地指導及び白寿会内部監査結果

○ 企業主導型保育事業立入調査 令和4年5月2日

【指摘事項】

・整備費の助成を受けた施設において、定員と現員に大きな乖離があるため、近隣企業や地域の保育需要の見通しを踏まえ、具体的な増員計画を作成し、利用児童の増員策を図ること。

・定員(自社枠、共同利用枠、地域枠)を保育所運営規程及び重要事項説明書(兼入園のしおり)にそれぞれ設定されていないので、早急に設定すること。

・自社従業員枠について、保育所運営規程及び重要事項説明書(兼入園のしおり)に、利用定員全体の1割以上の設定がされていないため、明記すること。

○ 静岡県立入調査 令和4年12月2日

【指摘事項】

・なし